

# 市民農園

## 農作業マニュアル

### 野菜づくり12ヶ月



農業交流センター  
つるの里 のほのほ

## はじめに

平成11年4月に農業交流センターの付帯施設として、近隣でも類を見ない市民農園225区画が開設されました。

市民農園は、市民の方に農業体験を通じて農業に対する理解を深めていただくとともに、農業関係者との交流及び情報交換の場となることを目指したものであり、テーマは「市民と農業のふれあい」をベースとして、農村的景観の残る高倉地区に、1日中遊べる、くつろげる、安らぎのもてる場として、公園的な明るい景観の中で作業が手軽に行えるよう設置されました。

開園後1年が過ぎ、この間、利用者の皆様には、熱心な取り組みと楽しみながらの作業や家族だんらんの場としてご利用いただけたのではないかと思います。

今年は、利用者の方に、より充実した農園利用を行っていただくことを目指して「ガイドブック」を作成しました。

ぜひ参考にして、自分流の計画のもとに、楽しさを味わっていただければと願っております。

平成12年3月



~~~~~ も く じ ~~~~~

はじめに

もくじ

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1月の家庭菜園 .....            | 1  |
| 2月の家庭菜園 .....            | 3  |
| 3月の家庭菜園 .....            | 5  |
| 4月の家庭菜園 .....            | 8  |
| 5月の家庭菜園 .....            | 10 |
| 6月の家庭菜園 .....            | 13 |
| 7月の家庭菜園 .....            | 18 |
| 8月の家庭菜園 .....            | 21 |
| 9月の家庭菜園 .....            | 24 |
| 10月の家庭菜園 .....           | 26 |
| 11月の家庭菜園 .....           | 29 |
| 12月の家庭菜園 .....           | 32 |
| 作付け計画の立て方 .....          | 34 |
| 家庭菜園5ヵ年輪作作付け表(実践例) ..... | 37 |
| 月別播種計画表 .....            | 38 |
| 野菜の作型 .....              | 39 |



# 1月の家庭菜園

## ■ 作付け計画を立てる

### 輪作計画を立てる

狭い畑を有効に使うため、どんな作物をどこにいつまくかを計画します。

この時、連作を避けなければならないものはどんな種類かに注意していただきたい。

畑は畝ごとに作物を作り、毎年1畝づつずらしていくと違った場所に栽培することになります。

なお、どうしても連作をしなければならない場合には、深耕したり、有機物を多量に施すると連作の害を緩和することもできます。

どうしても冬から春にかけては、とう立ち（蕾ができて花が咲く）したり、8～9月の暑い時期には、野菜が不足ぎみになります。このような時期には、ビニールトンネルをかけたり、寒冷紗をかけたりして作物の生育をすすめたり、遅らせたりするとともに、春菊、ほうれん草、小松菜、コカブなどの小物野菜を作付けしたり、貯蔵野菜や加工野菜を取り入れるのも良いでしょう。

## ■ 土の改良をする

土の天地返しをする。(30～50cmの深さ)

今月は、収穫後で新しい作付けの合間を利用して、深耕や天地返しをする良い機会です。

その効果は

- ①作物の根の分布容積を大きくする。
- ②土中酸素を増加させ根の伸長をよくする。
- ③寒い時期に行うと害虫のさなぎなど寒風にさらし、害虫の防除になる。
- ④天地返しで地表の雑草種子を深層に入れると雑草防除になる。
- ⑤深層の肥料成分の有効利用ができる。

方法は、表面の層の土を深層に入れ、深層の土を表層に出し、これを繰り返す。

## 有機物の施用と石灰の施用

天地返しと同時に有機物（腐葉土、牛糞、堆肥など）と石灰（石灰窒素、苦土石灰、消石灰など）を施すと天地返しの効果を高めます。すなわち有機物は土を柔らかくして、通気性を高め、保水性の向上等の効果があります。石灰は深層まで土の酸性の矯正をします。

## ■ 管理

### 追肥

**タマネギ** 植付け後第1回目の追肥として1㎡あたり化成肥料（8・8・8）を40～50g（約1握り）を条間に施し、同時に中耕、除草をし、株元に土を寄せます。

**イチゴ** 1㎡あたり化成肥料（8・8・8）を20g（約半握り）を株間に施します。土が乾燥したときは、朝のうちに水やりをします。

**軟弱野菜** 冬を越したハウレン草、春菊、小カブ、ミブナ、葉ネギ、ワケギなどには液体肥料500倍液をやります。または、硫安なら20g（約半握り）を10リットルの水に溶いて水やり代わりに朝のうちに行う。夕方になっても土の表面が湿っていると、霜柱がたち、野菜が傷む事がある。

**ブロッコリー、メキャベツ** 4月まで収穫を続けるので、肥切れしないように1㎡あたり化成肥料（8・8・8）を40～50g（1握り）を株間に施す。メキャベツは結球するにしたがって、下葉をかき取ります。

## ■ 収穫するもの

秋ダイコン、夏まきニンジン、ブロッコリー、メキャベツ、葉ネギ、結球ハクサイ、ハウレン草、シュンギク、コマツナなど。

## ■ 防寒

冬を越す野菜は、寒さに強いものが多いわけですが、それでも寒さのために傷むものがあります。このため色々な方法で手近な材料を使って防寒することが必要です。

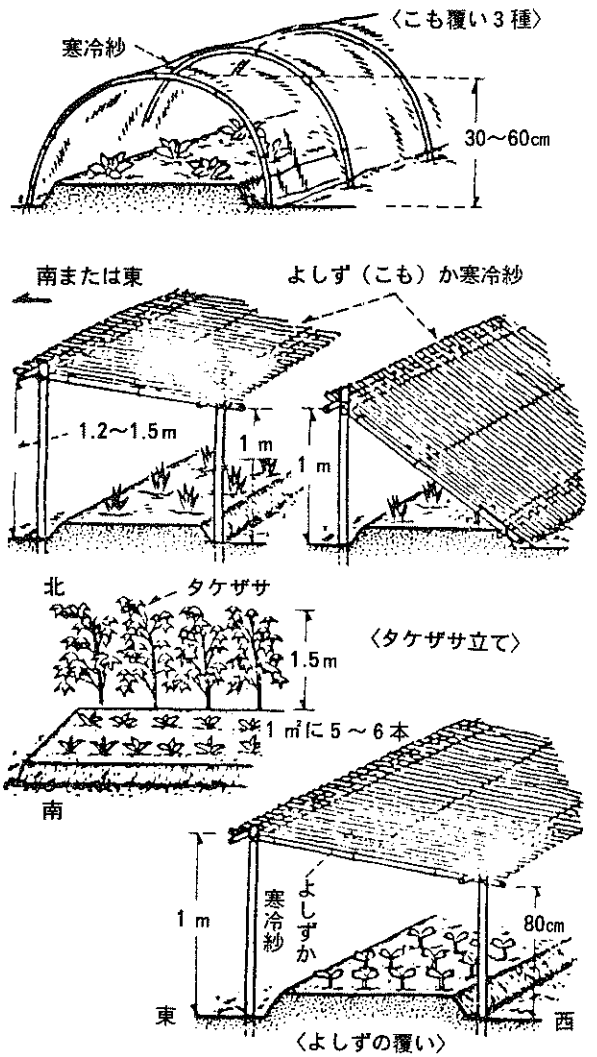
防寒の方法は、竹笹を立てたり、わらを使って防寒したり、寒冷紗を張ったり、ビニールトンネルをかけたり、パオパオをかけたり色々な方法があります。

タマネギでは、条間に堆肥を敷いたり、エンドウやソラマメでは株元にもみがらを敷いたり、わらを敷いたり、わらを下げたりして防寒と乾燥を防ぎます。

竹笹は葉付きの1.5mくらいのものをうねの北側に立て、うねを覆うようにします。

1mあたり5本位必要です。寒冷紗で覆う方法では南面をあげ、片屋根やトンネルにしたりする方法がありますが、早い時期にやりすぎると寒さに弱い作物になってしまいますので、寒さに2~3回あてて、寒さに慣らしてから、本格的な寒さに耐えるような防寒をするのが良いでしょう。

また、トンネル状にする時は最初、南か東側の裾を少し開けておき、厳寒期になってから密閉します。略図で示します。



## 2月の家庭菜園

| 種類 \ 月 | 2  | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 品 種                          |
|--------|----|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|------------------------------|
| ハウレンソウ | ●● | — | — | — | — |   |   |   |    |    |    |   | ミスターランド、キングオブデ<br>ンマーク、アクティブ |
| シュンギク  | ●  | — | — | — |   |   |   |   |    |    |    |   | 大葉種、中葉種                      |
| レタス    | ○  | × | — | — | — |   |   |   |    |    |    |   | ベンレイク、グレイトレイク54              |
| バレイショ  | ●  | — | — | — | — |   |   |   |    |    |    |   | 男しゃく、メイクイン、<br>ワセジロ          |
| ニンジン   | ●  | — | — | — | — |   |   |   |    |    |    |   | 5寸、金時、向陽                     |
| カブ     | ●  | — | — | — | — |   |   |   |    |    |    |   | 金町小かぶ、しろかもめ、玉里、<br>T749      |
| ゴボウ    | ●  | — | — | — | — | — |   |   |    |    |    |   | 渡辺早生                         |

〈記号の説明〉 ● 直まきは種 ○ 育苗床は種 ◎ 育苗または直まきは種 × 定植  
 は種期 育成期 収穫期 —●— 前月に引き続いて種をまく

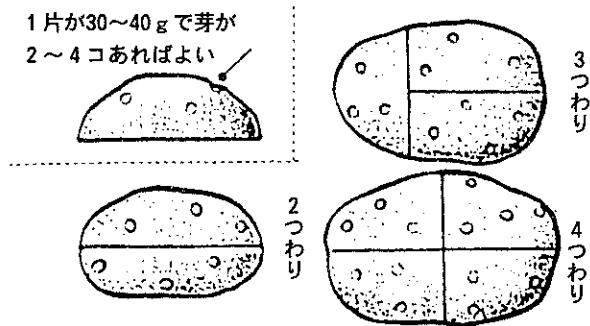
育苗期

### ■ 種まきするもの

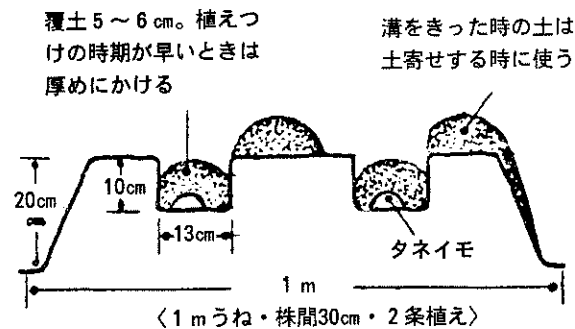
**ハウレンソウ・その他** 春まきのハウレンソウはとう立ちのおそい洋種を選んでまきます。うね幅60cmに鍬幅2条のまき溝を作り、まき溝に薄い硫酸水を施してからまきます。うねは東西に作り、北のほうを高くして陽当たりを少しでも良くしてやりましょう。発芽後は、時々水やりして乾燥を防いでやり、たびたび追肥をやって生育を促進させます。ハウレンソウのほかシュンギク、ツケナ類も下旬頃からまきつけられますが、いずれも幼苗期に低温にあってとう立ちしやすい野菜なので、発芽後は育成促進につとめ、とうが長く伸びないうちに収穫利用しましょう。

**春まきニンジン** 洋種ニンジンはカロチンを多く含んで栄養が高い。この春まきニンジンは、6～7月の野菜のない時期に収穫利用できます。品種はとう立ちの少ない品種を選びましょう。  
**春バレイショ** バレイショは5度位から生育をはじめますので、暖地では早くから植え付けられます。いもは40g位の大きさに切り、うね幅60cm、株間25cm位の間隔に植えます。肥料はいもといもの間か、あるいは横側で、発芽した根が早く肥料吸収のできる位置に施しておきます。肥料の種類も速効性のものがよい。

● ジャガイモのタネイモの大きさと切り方



● ジャガイモの植付け



レタス ビニールを被覆した簡単な陽熱育苗で苗を作り、3月に定植すれば5~6月に収穫できます。

ゴボウ 下旬頃に、種まきすれば6~7月に収穫できます。

■ 管理

秋まき冬越し野菜のタマネギ、キャベツ、エンドウ、ツケナ類等は厳冬期が過ぎて地温がだんだんと上昇するにつれて根の伸長が始まり、養分の吸収も盛んになってきますから追肥を行います。乾燥するところでは水やりを兼ねて水肥をやります。

■ 堆肥づくり

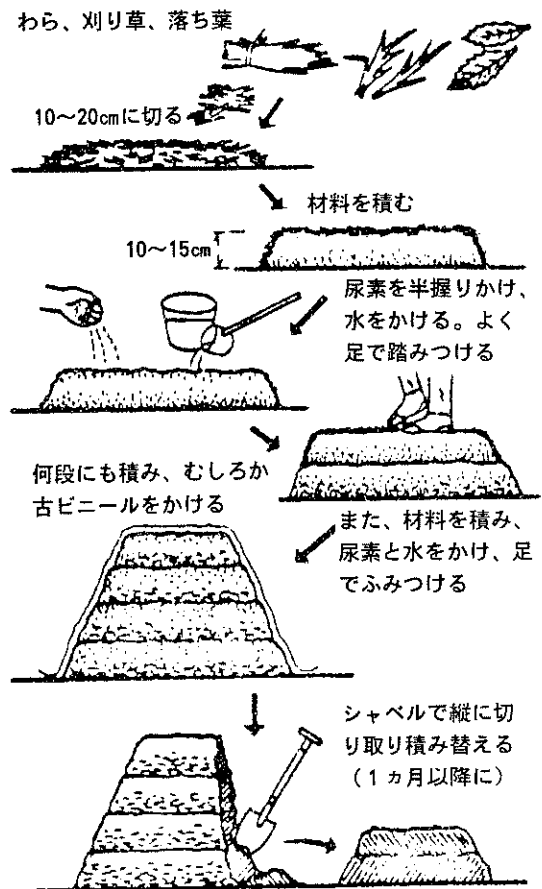
まだ寒い時期で仕事は比較的暇なので今うちに、土づくりのための堆肥づくりをしておきましょう。

堆肥は、地力を養うのに欠かせないものです。わら、刈り草、落ち葉、古い畳などを使って作っておきましょう。これらの材料を10~15cmの厚さに積んでは水をかけ、踏みつけ、上に尿素か硫安をかけ、また材料を積んで、水と尿素か硫安をかけて、何段にも積みます。

イネわら10kgに対し尿素は100g、硫安なら200gを使います。

雨の入らないように上に古ビニールをかけ、途中1回積み替えると、夏は3ヶ月、冬は6ヶ月で腐熟した堆肥ができます。

堆肥の作り方



# 3月の家庭菜園

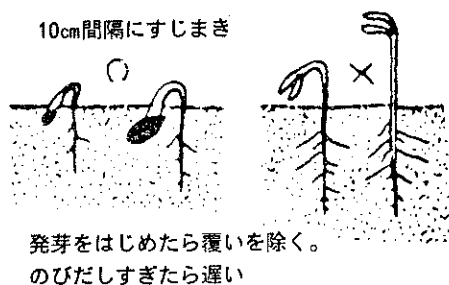
| 種類     | 月 |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   | 品 種 |                          |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|-----|--------------------------|
|        | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 |     |                          |
| キュウリ   | ○ | ○ | × | × | — | — | — |    |    |    |   |   |     | 北進、夏すずみ                  |
| トマト    | ○ | ○ | × | × | — | — | — |    |    |    |   |   |     | F 1 福寿100号、強力東光、<br>強力米寿 |
| ナス     | ○ | ○ | × | × | — | — | — | —  |    |    |   |   |     | 長交千両2号、黒福                |
| ピーマン   | ○ | ○ | × | × | — | — | — | —  |    |    |   |   |     | ワンダーベルソニア、<br>ゴールドンベル    |
| カボチャ   | ○ | ○ | — | — | — | — | — |    |    |    |   |   |     | 東京、芳香、青皮、甘栗、小菊、<br>生キル   |
| パレイショ  | ● | — | — | — | — | — |   |    |    |    |   |   |     | 男しゃく、農林1号、<br>メイクイン、ワセジロ |
| ニンジン   | ● | — | — | — | — | — |   |    |    |    |   |   |     | MS 3寸、金時5寸、向陽            |
| カブ     | ● | — | — | — | — | — |   |    |    |    |   |   |     | 金町小かぶ                    |
| ダイコン   | ● | — | — | — | — | — |   |    |    |    |   |   |     | 時無、天寶、猷夏                 |
| ゴボウ    | ● | — | — | — | — | — | — | —  | —  | —  | — | — |     | 渡辺早生、山田早生、滝の川            |
| キャベツ   | ○ | ○ | × | × | — | — | — | —  |    |    |   |   |     | 深みどり、春ひかり                |
| ハウレンソウ | ● | — | — | — | — | — |   |    |    |    |   |   |     | ミンスターランド、<br>キングオブデンマーク  |
| ツケナ    | ● | — | — | — | — | — |   |    |    |    |   |   |     | 春まき山東菜                   |
| 根深ネギ   | ○ | ○ | — | — | — | — | × | ×  | —  | —  | — | — | —   | 石倉1本、伯州1本、金長、<br>夏扇      |
| 葉ネギ    | ◎ | ◎ | — | — | × | × | — | —  | —  | —  | — | — | —   | 九条、観音                    |
| ニラ     | ● | — | — | — | — | — | — | —  | —  | —  | — | — | —   | 大葉種、在来種、<br>グリーンベルト      |
| パセリー   | ○ | ○ | × | × | — | — | — | —  | —  | —  | — | — | —   | パラマウント                   |



## ■ 種まきするもの

果菜類 キュウリ、トマト、ナス、ピーマン等の果菜類は、3月は暖地でも直まきは不可能です。早くから収穫したい場合は温床で苗を作らなければなりません。苗を買い求められる場合は育苗する必要はありません。育苗は正式な温床でなくても3月に入ると日中の気温はかなり高くなってきますので、ビニールを被覆した陽熱冷床で育苗しますと、また、移植を行わないでもよいようにポリ鉢を使って短期育苗すればよい。

### ・箱まき



### ・ビニール鉢に直まき

タネがかぶるくらいに土をかける



カボチャ、キュウリ、オクラなどは4号鉢に3粒ぐらいをまき発芽した生育のよいものを1本残す

ニンジン 栄養野菜として6～7月に収穫できるのでぜひまきつけしておきましょう。品種は短根種の3寸、5寸ニンジンがよい。

ゴボウ いやち性の野菜ですから連作を避けましょう。耕土の深いところに作付けすることが大切です。

春まきハウレンソウ 長日高温になるほどとう立ちが早いので、品種は、とう立ちのおそい洋種を使います。発芽後は早く生長させるため追肥をたびたび行います。

ツケナ類 幼苗期に低温にあうととう立ちしますので、早く生育させることが大切です。追肥をたびたびやりましょう。

## ■ 管理

タマネギ 秋まきキャベツ、エンドウ等と同様に除草、中耕、施肥、薬剤散布等の手入れを時期を失しないようにしましょう。下旬になると気温も上がってきて病気もぼつぼつ発生してきますので薬剤散布を必ず行うようにします。

## ■ 収穫するもの

ハウレンソウ、シュンギク、ワケギ、タカナ、ブロッコリー、子持ちカンランなど。

## ■ 踏込温床の実際

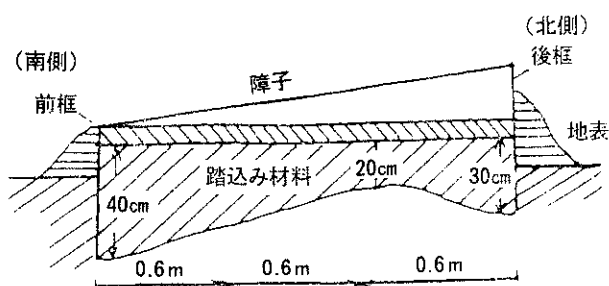
### 1 床穴の掘り方と框の据え方

踏込みは、床内の発熱温度を均一にするため、中央部は少なくして、周囲に多くします。

踏込みの厚さとは、その平均の厚さであって片屋根式温床の場合は、北側の後框部分を平均の厚さと見ればよい。踏込み厚さ30cmの場合は、後框部を30cmとし、中央部はその2/3の20cm、南側の前框部は平均の4/3、あるいは中央部の2倍の40cmとします。このようなカマボコ形の穴を設けて踏込みますが、中央の最高部は、温床の幅を三分して、南から2/3北側に寄った部分とします。

床穴は踏込みの厚さを考え、あまり地下深く掘り下げないよう、半高段式に框を据え、床土を入れて、前框の上端いっぱいになるくらいにします。

• 1.8m巾片屋根式温床の断面  
(踏込み) 30cmの場合



床面積3.3㎡に対し、厚さ3cm踏込みするのに要する踏込み材料とその分量

| 踏込み材料      | 踏込み厚さ | 3.3㎡当たり踏込み量             |
|------------|-------|-------------------------|
| イネわらの場合    | 30cm  | イネわら 9.3kg              |
| イネわらと厩肥の場合 | 〃     | イネわら 7.5kg<br>厩肥 3.75kg |
| 厩肥の場合      | 〃     | 厩肥 3.75kg               |

## 2 踏込方法

踏込材料の混合は框内で行うものと、框外で行うものがあります。框内で行う場合には、

3～4層に分けて踏込むのですが、框外で充分混合して踏込むと無限の層となるわけで理想的です。どの場合でも踏込みは3～4回に分けて行えば均一になり、踏込みの固さを加減するのに都合がよい。

踏込みの要領としては、水加減と踏込みの固さが大切ですが、材料そのものの水分含量が、それぞれ異なるため、一々計算するよりもカンで行うのが普通です。即ち材料を握り締めて水が指間からにじみ出るとか、或いは踏込みの上に片足で立って踏みつけるとジュクジュクと音がする程度が適当だと言われています。こうしておけば5日から7日位で種まきができます。

## 3 外気温の上昇と踏込み量の加減

厳寒時の踏込み量を基準として、外気の平均気温が1度上昇するにつれて、踏込みの厚さを10%あて少なくします。気温は大体10日ごとに1.5～2度暖かくなってきますから、10日ごとに踏込みを15～20%減らしてよい。

踏込み量と外気温及び日照との関係  
(外気温が夜間0℃、日中10℃内外の場合)

| 踏込みの厚さ | 床土の温度 |           | 備 考                                                                                                                      |
|--------|-------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 晴天日中  | 夜間や曇雨天の日中 |                                                                                                                          |
| 30cm   | 35℃   | 20℃       | 夜間や曇雨天の日中はこの40%くらい低くなる。床温は60%が踏込み材料の発熱により40%が太陽熱によるものといえる。また、気温1℃の違いは踏込みの厚さで3～6cmの違いとなる。育苗期に曇雨天の多い地帯や寒い地帯は踏込みを多くする必要がある。 |
| 24cm   | 30℃   | 17℃       |                                                                                                                          |
| 18cm   | 25℃   | 14℃       |                                                                                                                          |
| 12cm   | 20℃   | 10℃       |                                                                                                                          |

# 4月の家庭菜園

| 種類 \ 月 | 4 | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 品 種                                   |
|--------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|---|---|---|---------------------------------------|
| キュウリ   | ○ | ×     | ×     | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 夏秋節成2号                                |
| キュウリ   | ● | ————— |       |       | ————— |       |       |    |    |   |   |   | 夏秋節成2号                                |
| トマト    | ○ | ×     | ×     | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | F1福寿100号、強力東光、強力米寿、おどりこ、端秀、甘太郎        |
| ナス     | ○ | ×     | ×     | ————— |       |       | ————— |    |    |   |   |   | 千両2号                                  |
| ピーマン   | ○ | ×     | ×     | ————— |       |       | ————— |    |    |   |   |   | F1緑王、F1にしき、ニューエース、カルホルニアワンダー          |
| カボチャ   | ○ | ×     | ————— |       |       |       |       |    |    |   |   |   | 東京、芳香、青皮、甘栗                           |
| カボチャ   | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 東京、芳香、青皮、甘栗、小菊ちりめん                    |
| シロウリ   | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 東京早生、東京大しろうり                          |
| スイカ    | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 天竜2号縞王                                |
| マクワ    | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | プリンス系、キンショウ                           |
| インゲン   | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 江戸川(つるなし)、黒三度(つるあり)、ケンタッキーワンダー系(つるあり) |
| エダマメ   | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 奥原早生、白鳥                               |
| パレイショ  | ● | ————— | ————— |       |       |       |       |    |    |   |   |   | 男しゃく、農林1号、メイクイン                       |
| サトイモ   | ● | ●     | ————— | ————— |       |       | ————— |    |    |   |   |   | 石川早生、大吉、土垂、蓮葉                         |
| ゴボウ    | ● | ————— | ————— |       |       | ————— | ————— |    |    |   |   |   | 渡辺早生、山田早生、滝の川                         |
| ダイコン   | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 春早生、春まきみの早生、春王                        |
| カブ     | ● | ————— | ————— |       |       |       |       |    |    |   |   |   | 金町小かぶ                                 |
| キャベツ   | ○ | ×     | ×     | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 早生秋宝、将軍                               |
| ツケナ    | ● | ————— | ————— |       |       |       |       |    |    |   |   |   | 春まき山東菜                                |
| フキ     | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 愛知早生、水ふき                              |
| シュンギク  | ● | ●     | ————— | ————— |       |       |       |    |    |   |   |   | 大葉種、中葉種                               |

## ■ 種まきするもの

**果菜類** キュウリ、トマト、ナス、ピーマン、カボチャ等は、3月に引き続いて育苗、種まきできますが、このうちキュウリとカボチャは、スイカ、マクワ、シロウリ、豆類と同様に直まき出来ます。直まき果菜類は、種まき後ホットキャップをかけ、低温や病害虫から保護してやりましょう。

**根菜類** サトイモ、ジャガイモ、ヤマイモ、ニンジン、ゴボウ、ダイコン、ショウガ等の根菜類が植え付けられます。サトイモ、ヤマイモ、ショウガ等の高温性の野菜は、地温の上がってくる中旬頃から植え付けるのが安全ですが、一般に霜に弱い夏作物は露地にまき付けるときは、その地方の晩霜期以後に発芽するように、晩霜の10～15日ぐらい前には種まきするのが普通で4月下旬になります。

## ■ 管理

**秋まき冬越し野菜** キャベツ、タマネギ、エンドウ、ソラマメ、イチゴ等、病害の発生が多くなり、アオムシの被害もだんだん増えてきますので薬剤散布を励行しましょう。

**春野菜** ホットキャップを被せて直まきした果菜類は発芽後の高温乾燥に注意しましょう。

発芽後は日中換気を行います。換気をはじめると乾燥するので水やりにも気をつけましょう。

## ■ 露地植えの準備

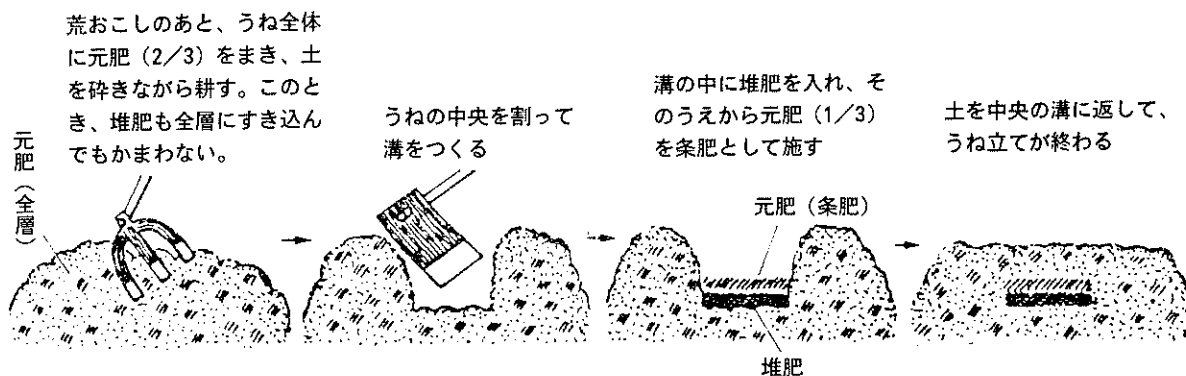
**栽培場所** 日当たりと排水の良い場所を選びます。

**荒起こし・石灰散布** 植付け予定地は早くから耕しておき、元肥は植付けの20日ぐらい前には入れておきます。窒素肥料は全量の40%から50%ぐらい、リン酸は80%ぐらい、カリは60%ぐらいを施します。肥料を入れる深さは、ナス、トマトの場合はできるだけ深く、キュウリ、カボチャは、浅くしても良い。排水悪く冠水しやすいところはうねを高くします。

## ■ 収穫するもの

秋まきの極早生キャベツ、サヤエンドウ、ツケ菜類。

### ・うね立てと元肥の施し方



## 5月の家庭菜園

| 種類   | 月 |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   | 品 種 |                                           |
|------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|-----|-------------------------------------------|
|      | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 |     |                                           |
| キュウリ | ● | — | — | — | — |    |    |    |   |   |   |   |     | 夏秋節成り2号                                   |
| トマト  | × | × | — | — | — |    |    |    |   |   |   |   |     | F1福寿100号、強力米寿、<br>強力東光                    |
| ナス   | × | × | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |     | 千両2号                                      |
| ピーマン | × | × | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |     | F1緑王、にしき、<br>カルホルニアワンダー                   |
| カボチャ | × | — | — | — | — |    |    |    |   |   |   |   |     | 東京、芳香、青皮、甘栗                               |
| シロウリ | ● | — | — | — | — |    |    |    |   |   |   |   |     | 東京早生、東京大しろうり                              |
| スイカ  | × | — | — | — | — |    |    |    |   |   |   |   |     | 天竜2号、綺王、マックス                              |
| マクワ  | × | — | — | — | — |    |    |    |   |   |   |   |     | プリンス系、キンショウ                               |
| インゲン | ● | — | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |     | 江戸川(つるなし)、黒三度(つるあり)、<br>ケンタッキーワンダー系(つるあり) |
| エダマメ | ● | — | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |     | 奥原早生、白鳥                                   |
| サトイモ | ● | — | — | — | — | —  | —  |    |   |   |   |   |     | 石川早生、大吉                                   |
| ヤマイモ | ● | — | — | — | — | —  | —  | —  |   |   |   |   |     | 長いも、やまといも                                 |
| ダイコン | ● | ● | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |     | 春まきみの早生、<br>夏まきみの早生                       |
| カブ   | ● | — | — | — | — |    |    |    |   |   |   |   |     | 金町こかぶ                                     |
| キャベツ | ○ | × | × | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |     | 将軍、末広、早生秋宝                                |
| パセリ  | ○ | — | — | × | × | —  | —  | —  | — |   |   |   |     | パラマウント                                    |
| 葉ネギ  | ● | — | — | — | — | —  | —  | —  | — | — | — | — | —   | 九条                                        |

### ■ 種まきするもの

**果菜類** スイカ、マクワ、カボチャは遅くまくと収量が減ってくるので上旬までにまき終えるのがよい。キュウリは夏キュウリの品種を使用

して、随時まきつけられます。インゲン、枝豆は4月に引き続き種まきできます。

**根菜類** サトイモ、ヤマイモ、ショウガ等の根菜類は、中旬くらいまでには植付けを終わります。

ダイコンはとう立ちの遅い春まきのみを種まきします。

**葉菜類** 初夏まきのキャベツを冷床で育苗できます。品種は暑さに強いものを選びましょう。セロリは5月にまけば、10月から収穫できます。葉ネギも先月に引き続いて種まきできます。

## ■ 管理

**果菜類の定植** 3月から育苗したキュウリ、トマト、ナス、ピーマン等は晩霜の危険がなくなり次第植え付けます。

植え付ける順序は、低温に強いトマト、カボチャを先に植え、次いでキュウリ、ナス、ピーマンの順に植え付けます。

### 苗を求めるときの注意

**品種がはっきりしていること** キュウリなどでは、品種によって摘心の仕方に影響します。

**根鉢が大きくついていること** 5～10本束にして売られている苗は避けましょう。根鉢がなく植痛みがひどく出ます。ポリ鉢に植えてある苗ならば、大体根がしっかりしています。

**葉が傷んでいないこと** 病気で葉が変色したり、いじけたような小さな葉や、傷ついた葉の苗は避けましょう。

**徒長していないこと** ヒョロヒョロした苗や、葉色の薄い苗は避け、葉の色艶の良い苗を選びましょう。

**つぎ木苗は丈夫** 多少値段が高くても、つぎ木苗を利用するほうが得策です。

### 植付けと、その後の基本的な管理

**植付け** 薄曇りの日か、夕方に植えて、苗のしおれを防ぎます。根鉢は崩さないように丁寧に植え付けます。深植は、根の発生を遅らせ、立ち直りの妨げになるので、できるだけ浅植えにします。

**マルチの施用** 春早い植付けは地温が低く活着が悪いのでマルチをかけると良いでしょう。

ポリフィルムを地面に敷くと、土の温度が上がって根の伸びが良くなり、生育を早めます。ただ、このマルチをかけると肥料が雨で流れないので、元肥を控えめにしなければなりません。そうしないと、できすぎて蔓ぼけになることがあります。普通20～30%少なめに肥料をやります。カボチャ、スイカ、サツマイモなどには元肥を半分くらいにします。肥料は油粕や緩効性の肥料が良い。

マルチは、雨の後などで土が適度な湿り気を保っているとき以外は水やりしてからにします。**水やり** 植付けがすんだら、十分に水やりをして根を落ち着かせます。過リン酸石灰10～15g（軽く一握り）を水10リットルに溶かして、それを水やりに使うと、根の再生が促進されます。活着するまで、しおれたときは水やりをするか、噴霧器で葉面散水をしてやります。

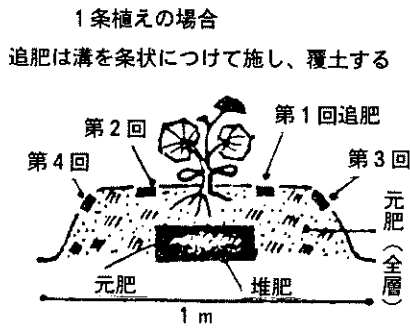
**仮支柱と本支柱** トマト、ナス、キュウリでは、本支柱が間に合わない場合は、植付け当初30cm程度の細竹を立てて仮支柱をして、苗が倒れないようにしておきます。

### 追肥

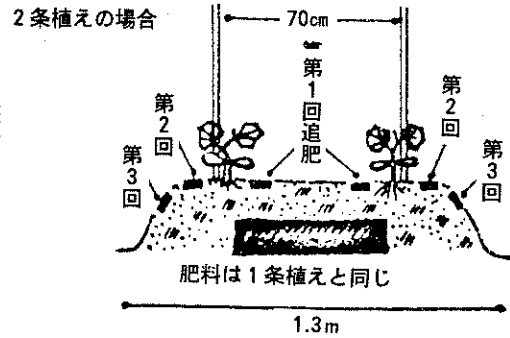
定植した果菜類は、根の出始めた頃を見計らって軽く第1回の追肥をします。ただし、肥料が多すぎると花つきが悪くなるので多すぎないようにしましょう。

3～4月まきの春野菜も初期生育促進のため適宜追肥します。

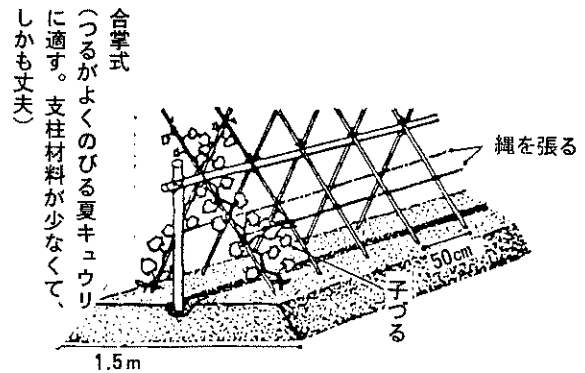
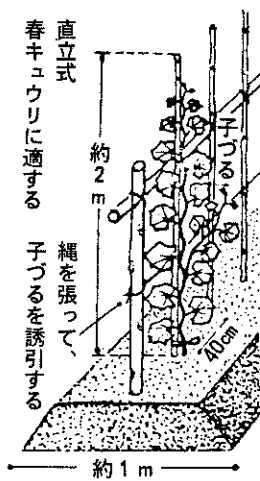
・追肥の施し方（露地植えのキュウリ、トマト、ナスに共通）



1条植え、2条植えとも、追肥後に敷きわらをする



本支柱の立て方



合掌式は、支柱を斜めに立てて、上部で交差させて結びつける方法です。風で倒れにくく、真夏は土が乾きにくい長所がありますが、風通しが悪く、病気が出やすく、北側の列が生育初期に日陰になって生育が遅れ気味になります。直立式より柱は少なくて済みます。

直立式は、風通しが良く、日当たりも良いが、風に弱いので、杭をしっかり打っておかなければなりません。土は乾きやすく、水やりをまめにやると生育が良い。

敷きわら 梅雨前に、うねの上にわらを雨のたたきが上がらない位の厚さに敷きます。

敷きわらは、土が固まるのを防ぎ、雑草の発生を抑え、雨天に泥の跳ね上がりで広がる病気を防ぎます。

■ 管理

ジャガイモの追肥と土寄せ

薬剤散布

降雨前と降雨直後に薬剤散布を行います。

■ 収穫するもの

秋まきのキャベツ、エンドウ、イチゴ、早春まきのツケナ類

# 6月の家庭菜園

| 種類 \ 月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 品 種                                          |
|--------|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|----------------------------------------------|
| キュウリ   | ● | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |   | 夏秋節成り2号                                      |
| インゲン   | ● | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |   | つるなし→トップクロープ、江戸川、黒三度<br>つるなし→ケンタッキーワンダー系、衣笠系 |
| ダイコン   | ● | — | — | — | —  |    |    |   |   |   |   |   | 夏まきみの早生                                      |
| ニンジン   | ● | — | — | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   | 黒田5寸、向陽5寸                                    |
| キャベツ   | ○ | × | × | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   | 早生秋宝、末広、将軍                                   |
| ブロッコリー | ○ | × | — | — | —  | —  | —  |   |   |   |   |   | ドシコー、緑嶺、緑帝                                   |

## ■ 種まきするもの

6月になると種まきする野菜はぐっと少なくなってきました。春野菜は5月までに一応作付けを終わっていて、菜園は大体満杯の状態ですから、この月に種まきする野菜は、タマネギ、エンドウ、イチゴ等の跡作に引き続き、夏キュウリの品種をまきつけます。また、抑制用のインゲンもまきつけできます。

ニンジンは今月に種まきすれば9月～10月に収穫できます。

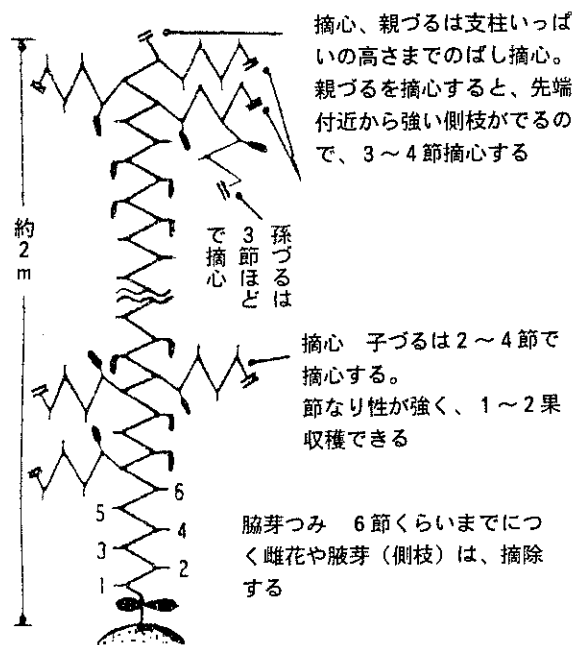
ブロッコリー（緑はな野菜）は、キャベツに準じて栽培すればよく、今月まけば9月末から収穫できます。

セルリーも前月に引き続き種まきできます。

## ■ 管理

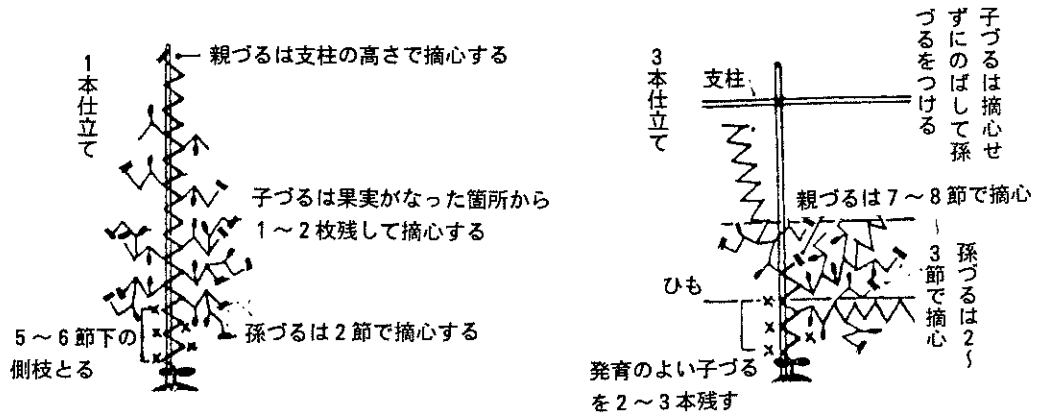
### 果菜類の整枝

#### ・春キュウリの整枝

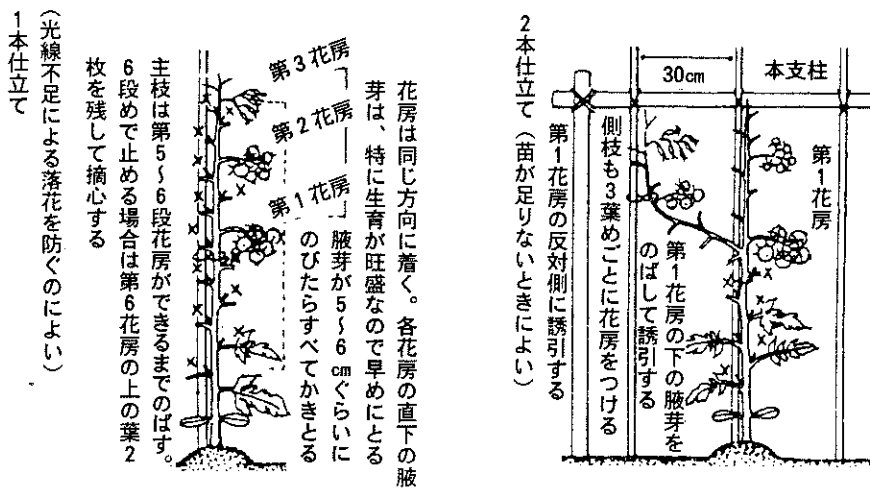




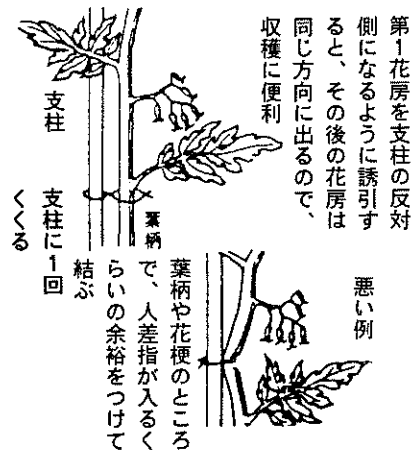
・夏キュウリの整枝



・トマトのしたて方

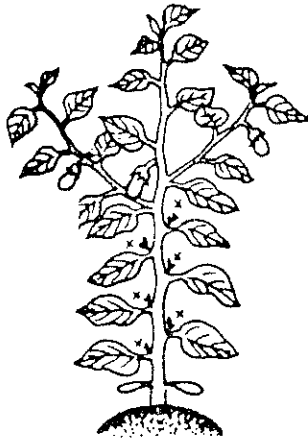


トマトの誘引のし方



・ナスの着花習性と整枝・摘心

主枝はそのままのばす



1番花の下から出る強い側枝2本をのばす

主枝の1番花がついたすぐ下の腋芽は強くのびる。この枝とさらに下の枝1本をのばして3本の主枝とし、この主枝から出る側枝はそのままのばす

節位の低いところから出る腋芽は、早めに摘除する。ただし、葉はつみとらずにおく

この部分の蕾は1番果が収穫できるころ摘除する

・ナスの摘心とふところ枝の整理

果実のなったところから葉を1枚残して摘心する



果実を収穫したら、葉を2枚残して切り戻しておく



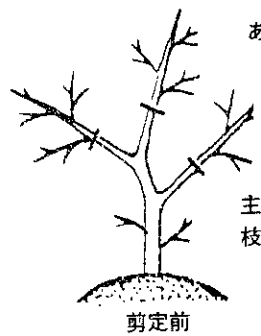
ふところ枝は日当たりが悪いので、つけ根から切除する



切り戻した側枝から出る腋芽をのばす。葉が2枚出ると花がつくので、葉を1枚残して摘心する

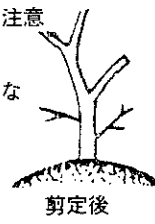
・ナスの更新剪定

真夏になると、暑さのために草勢が衰えて、果実の太りが悪くなる。主枝を切り戻して新しい芽をださせ、それに果実をならせる

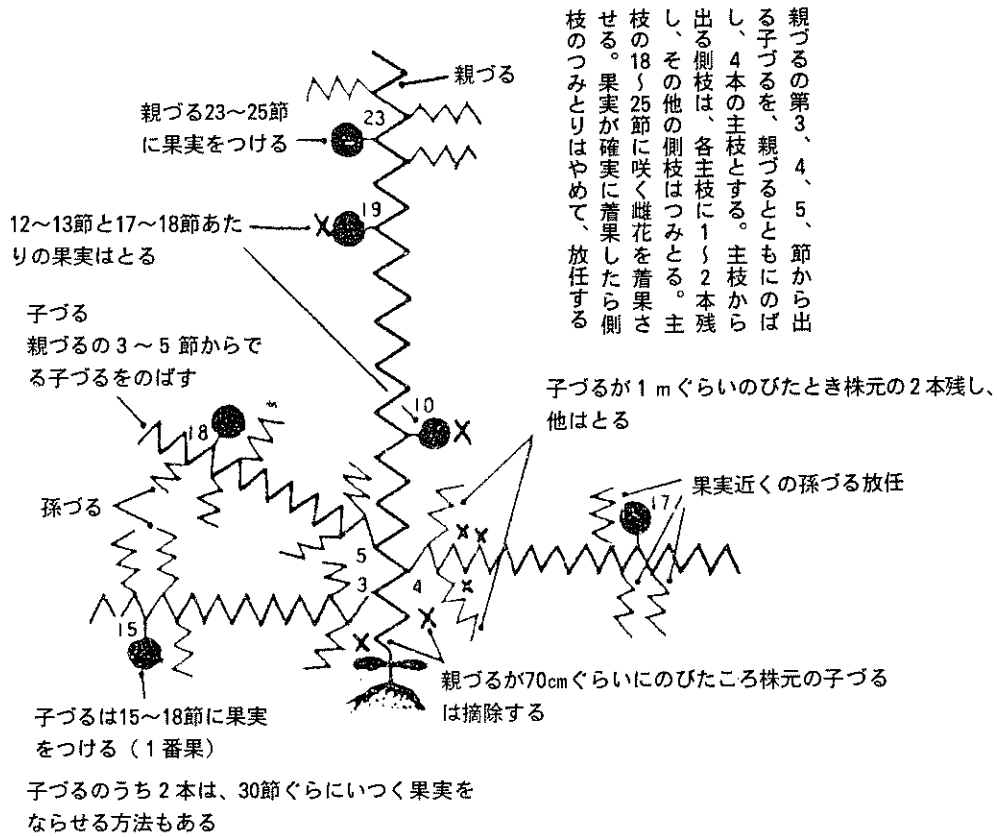


あまり強く切り戻さない。主幹の切り戻しをあまり強くすると、芽が出ずに枯れ込むことがあるので注意

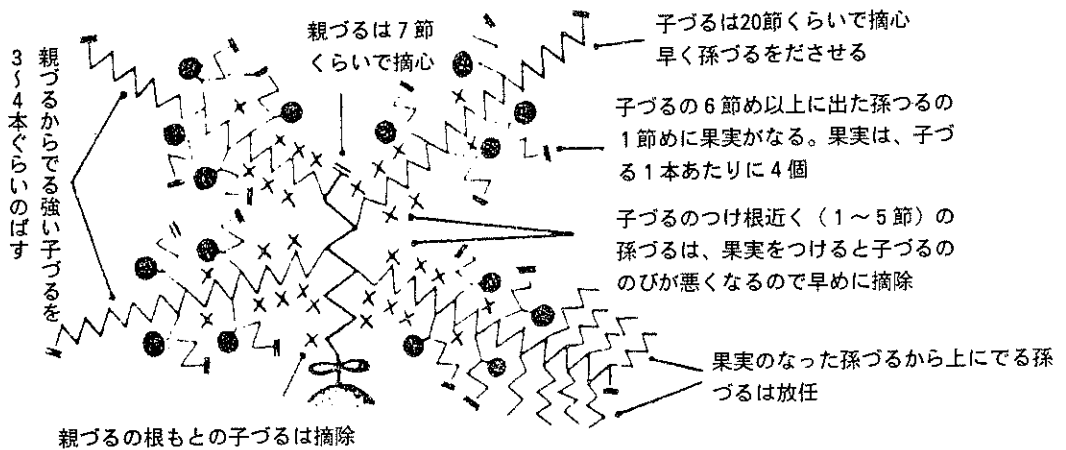
主幹より下の小さな枝は残す

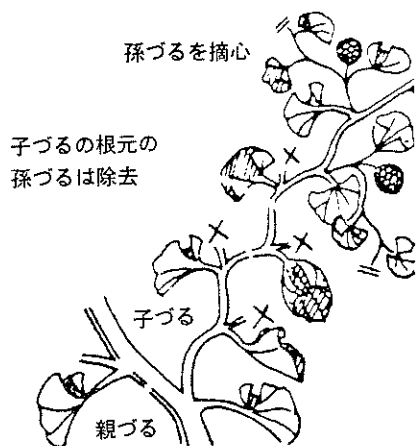


・スイカのはいづくり（主枝無摘心法。露地植えに適する。）

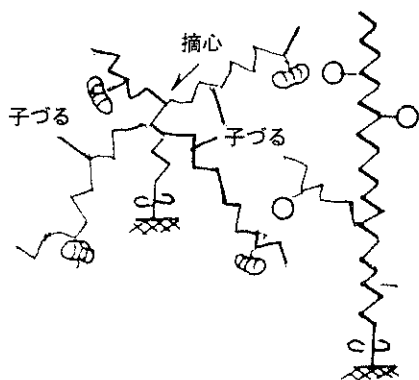


・メロンの整枝法（はいづくり）





・カボチャの摘心



サツマイモのつるざし

**植付けの準備** サツマイモはあまり肥えていない畑のほうが良い。畑が肥えている場合は、肥料を施さず、やせている場合は、1㎡に元肥として硫安、過リン酸石灰、硫酸カリを各10g位ずつ施します。うね幅は60~80cmくらいにとり、三角形に近い高いうねを立てます。

**苗のさし方** 植え終わったら充分水やりし、苗の上にわらか刈り草をのせておきます。植付けのときに葉が土に埋まらないように1枚1枚、土の表面に出しておきます。

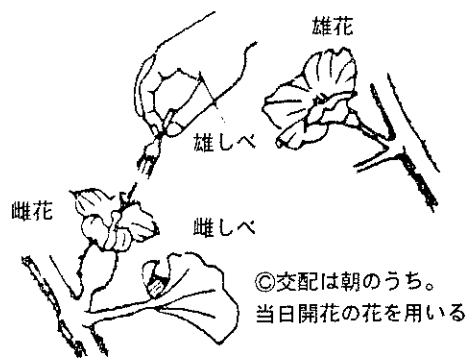
**心とめと追肥** 植付け後、新葉が5~6枚でたときに、指で茎の先をつまんで心をとめます。

心どめをすると4~5日後に下の葉のわき芽が新しく生長し、葉の枚数が増えます。つるの茂り具合を見て、硫安、過リン酸石灰、硫酸カリを1㎡に各々5gぐらいずつ施します。イモは植付け後80日ぐらいから急に太りだします。お盆の頃にさぐり掘をするのも楽しみです。

・スイカ、露地メロンの人工交配

スイカやメロンは雨が多いと着果が悪くなります。このため、人工的に花粉を雌花に媒助する人工受粉をして、着果を確実にしてやりましょう。雨降りときは古はがきで「三角帽」を作って翌日咲きそうな雌花と雄花の両方にかけて雨除けをしておき、交配は早朝のうちに雄花をとって花粉を雌花につけて、再び雌花に雨除けをしておきます。

花粉の寿命は大変短く、9時過ぎには受精能力は半減してしまいます。



■ 土壌管理

降雨が多いので排水に努め、降雨による土はね上りを防ぐために株元に敷きわらをしてやります。

■ 収穫するもの

秋まきキャベツ、タマネギ、エンドウ、イチゴ、キュウリ、春ジャガイモなど。

# 7月の家庭菜園

| 種類     | 月 | 7  | 8  | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 品 種                                              |
|--------|---|----|----|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|--------------------------------------------------|
| キュウリ   |   | ●  | —  | — | —  |    |    |   |   |   |   |   |   | 夏秋節成り2号                                          |
| インゲン   |   | ●  | —  | — | —  |    |    |   |   |   |   |   |   | つるなし→トップクローブ、江戸川、マスターピース<br>つるあり→ケンタッキーワンダー系、衣笠系 |
| ニンジン   |   | ●  | —  | — | —  |    |    |   |   |   |   |   |   | 黒田5寸、金時、小泉越冬5寸                                   |
| ニンジン   |   | ●● | —  | — | —  | —  | —  |   |   |   |   |   |   | 金時                                               |
| カブ     |   | ●  | —  | — | —  |    |    |   |   |   |   |   |   | 金町小かぶ                                            |
| キャベツ   |   | ○  | ×× | — | —  | —  | —  |   |   |   |   |   |   | 新青2号、晩抽理想、理想                                     |
| ツケナ    |   | ●  | —  | — | —  |    |    |   |   |   |   |   |   |                                                  |
| カリフラワー |   | ○  | ×× | — | —  | —  | —  |   |   |   |   |   |   | 野崎早生、スノーキング                                      |
| ブロッコリー |   | ○  | ×× | — | —  | —  | —  | — | — | — |   |   |   | ドシコー、中生緑花野菜                                      |
| 子持かんらん |   | ○  | ×× | — | —  | —  | —  | — | — | — |   |   |   | 長交早生子持、増田子持                                      |

## ■ 種まきするもの

**キュウリ** 抑制キュウリとして先月に引き続き夏キュウリが種まきできます。

**インゲン** 抑制インゲンとして先月に引き続き種まきできます。

**ニンジン** 洋種ニンジンは先月に引き続き種まきでき、中旬頃から金時ニンジンを種まきすれば11月以降に収穫できます。

**カブ** 先月に引き続き種まきできます。

**キャベツ** 夏まきキャベツの年内どりは本月中に種まきします。

**カリフラワー** 夏まきキャベツと同様に種まきします。品種は早生種を使用しましょう。

**ブロッコリー** キャベツに準じて種まきします。収穫時期は早まきすれば10月下旬頃からとれるようになりますが、普通は11から12月、南部では3～4月まで側枝の収穫が続けられます。

## ■ 管理

### 夏ぼけ防止

梅雨が上がり、中旬過ぎから高温乾燥の本格的な夏型の気候となります。雨が多く地下水位の高かった梅雨期間中は、野菜の根は一様に地表浅く分布していますが、梅雨が明けて乾燥が続くと、これらの根は乾燥と高温障害を受けます。その結果肥料吸収が悪く、栄養不良となって病気にかかりやすく、果菜類の果実は品質が低下するいわゆる夏ぼけを起こしがちです。

この対策としては、梅雨の明け頃から敷きわらをできるだけ厚くして肥料も少量をたびたび施すようにし、できるだけ水肥えとして施すのがよく、また、時々葉面散布剤、液体肥料、尿素等の葉面散布を行うのが良い。栄養が悪くなると、キュウリにベト病、ナスに赤ダニ等各種の病害虫の発生も多くなります。梅雨期に引き続き薬剤散布を励行しましょう。

**育苗** 夏まきキャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、子持ちかんらんなど7月に育苗するものは定植期が8～9月の高温期になるので、植え痛みを軽くするために、鉢育苗を行うと良い。

幼苗期の高温を防ぐためにビニロン寒冷紗を本葉2～3枚の大きさまで、風通しを妨げない位の高さに被覆すると良い。

雨のときはビニールを張り雨にうたれないようにしてやります。

**夏まきニンジンの種まき** ニンジンは、黄緑野菜の代表で栄養価も高く、家庭菜園にもぜひ一畝くらい作りたいものです。発芽がそろわないので、ニンジン作りは難しいといわれますが、梅雨中にまけば、楽に発芽がそろいます。

**畑の準備** ニンジンは酸性に弱いので、1㎡当り石灰を4～5握り(200～300g)まいて、土とよく混ぜます。畑は深く起こして、土をよく砕き、前につくった作物の茎や根、未熟な堆肥などは取り除きます。元肥を種まきの約10日位前までに施し土とよく混ぜておきます。

なお、ニンジンはセンチュウ(ネマトーダ)の害が出ない畑では、4年ぐらい連作したほうが根の発育が良い。

**タネのまき方** ニンジンのタネには、毛つきと毛を取ったものがあります。毛のついたものは、手でもんで毛を取ります。1㎡当り毛つきで5ml、けとりで3mlの割でまきます。発芽を良くするため、水に一昼夜つけますが、そのまま

だと手についてまきにくいので、同量の草木灰や乾いた砂に混ぜてまくと良い。あらかじめ、畝には水か液肥の300倍を灌水しておきます。

1㎡畝なら3条に、70～80cm畝なら2条に、V字型の浅い溝を鋤の先でつけて種をまきます。覆土は浅く種が見えない程度に行いますが、粘土質の畑では、川砂か腐熟した堆肥の入った軽い土で覆土すると良い。その上を鋤で押さえて、切りわらや新聞紙で覆って乾燥を防ぎます。発芽まで7～10日くらいかかりますが、発芽してきたら夕方に新聞紙を取り除きます。ニンジンは初期の生育が遅いものですが発芽さえそろえば、8分通り成功したも同様です。

## ■ ナスの更新剪定

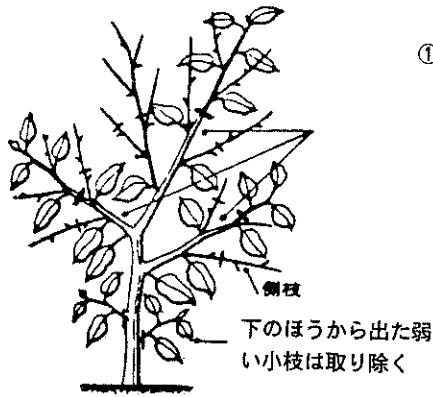
毎日、色艶のよい果実をならせ続けたナスも本格的な夏を迎えて勢いが衰え、ハダニによる落葉も目立つようになり、そのままでは品質が落ちて、収量もあまり期待できなくなってしまいます。今から更新剪定をし、夏休みを与えて若返りを図る。初秋の頃から再び味の良いナスがとれるようになります。

剪定の時期は、今月中～下旬になり、草勢が弱った頃。次の収穫までには30日内外の日数がかかるので(切り込み程度により異なる)、8月下旬頃から再びなり始めます。

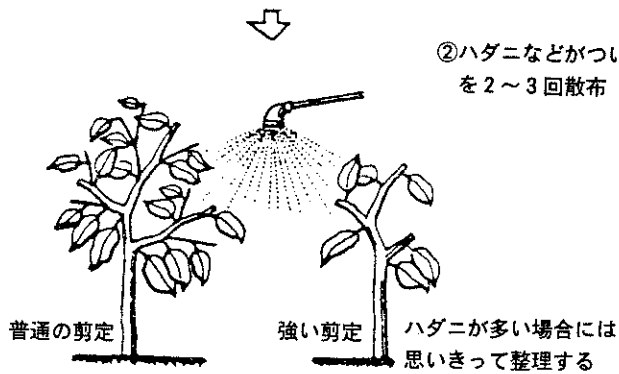
## ■ 収穫するもの

果菜類、タマネギ、ジャガイモ

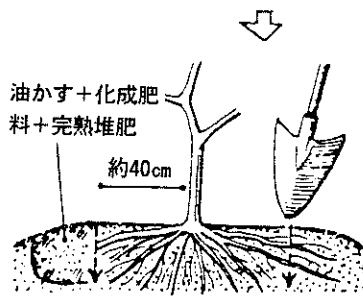
・ナスの更新剪定と根の手入れ



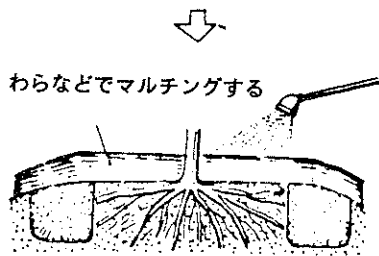
①まず主枝を大きく切りもどし、つぎに側枝を2～3節残して切る。葉がついていたほうがよいが、必ずしもすべての節についていなくてもよい



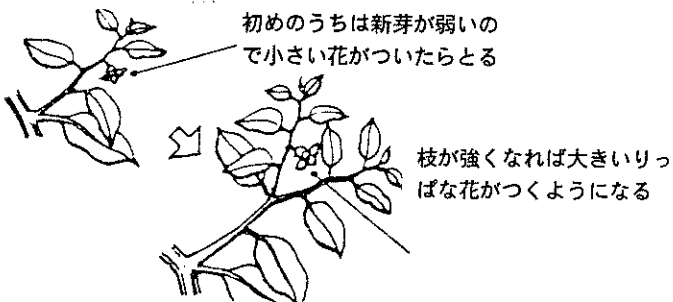
②ハダニなどがついていることが多いので薬剤を2～3回散布



③根元から約40cm離れたところの両側にスコップを入れ根を切る。1株につき完熟堆肥4～5握り、油かすと化成肥料を各大さじ2杯をうねの両側にすきこむ



④乾きやすい所では水やり管理も入念に



# 8月の家庭菜園

| 種類 \ 月 | 8  | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 品 種                                          |
|--------|----|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|----------------------------------------------|
| キュウリ   | ●  | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   |   |   | 近成山東、夏秋節成り2号                                 |
| インゲン   | ●  | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   |   |   | つるあり→トップクローブ、江戸川、黒三度<br>つるなし→ケンタッキーワンダー系、衣笠系 |
| ダイコン   | ●  | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   |   |   | 夏蒔みの早生                                       |
| カブ     | ●● | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   |   |   | 金町小かぶ                                        |
| ニンジン   | ●● | — | —  | —  | —  | — | — | — |   |   |   |   | 金時、小泉越冬5寸                                    |
| バイレショ  | ●  | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   |   |   | でじま、農林1号                                     |
| キャベツ   | ○  | × | —  | —  | —  | — | — | — | — |   |   |   | 長交理想、晩抽理想                                    |
| ハクサイ   | ●● | — | —  | —  | —  |   |   |   |   |   |   |   | 長交60日、無双、王将                                  |
| レタス    | ○● | — | —  | —  | —  |   |   |   |   |   |   |   | グレイトレイク、<br>グレイトレイク366                       |
| カリフラワー | ○  |   |    |    | —  | — | — | — |   |   |   |   | 増田中生、増田晩生                                    |
| ラッキョウ  | ●  | — | —  | —  | —  | — | — | — | — | — | — |   | 在来種、王らっきょう                                   |
| ニンニク   | ●● | — | —  | —  | —  | — | — | — | — | — | — |   | 在来種                                          |
| ワケギ    | ●● | — | —  | —  | —  | — |   |   |   |   |   |   | 早生系、中生系                                      |
| ツケナ    | ●● | — | —  | —  |    |   |   |   |   |   |   |   | 山東菜                                          |

## ■ 種まきするもの

**キュウリ・インゲン** 上旬ぐらいまでに種まきすれば降霜期まで収穫できます。

**ダイコン** みの早生を種まきします。

**カブ** 小カブを種まきします。

**ニンジン** 先月から引き続いて金時ニンジン、小泉越冬5寸が種まきできます。

**ジャガイモ** 秋ジャガイモを下旬に植え付ける。

**ハクサイ** 中・下旬頃までに種まきを終わります。

**キャベツ** 夏まきキャベツの冬どり、早春の3～4月どりそれぞれ上旬、中旬に種まきします。1～2月の平均気温が摂氏3度以下の地帯では難しくなります。

**レタス** 秋の早どりは中旬に種まき、年内遅どりは、それ以後に種まきします。

**カリフラワー** 中生種、晩生種は12月以後の収穫となるので、冬どりの夏まきキャベツが栽培できるところでなければ栽培できません。

**ワケギ** 年内収穫は上～中旬に植える。冬どりは寒害の少ない地帯が対象になります。



## ■ 管理

**夏ボケ防止** 夏ごしさせる果菜類は、夏ボケ防止に努めましょう。乾燥するにつれて、ナス等は赤ダニの発生が多く、その他アブラムシも多く発生するのでキュウリ、ダイコンのアブラムシにはマラソン乳剤、キュウリ、ネギ類のダニにはアカール乳剤、アブラムシにはマラソン乳剤を散布して駆除します。

ウリ類のベト病、タンソ病も依然、発生するので、タンソ病にはトップジンM、ベト病には、ダイセン等を散布します。

収穫を終わったキュウリ、トマトの病害に侵された株は焼き捨てるようにしましょう。

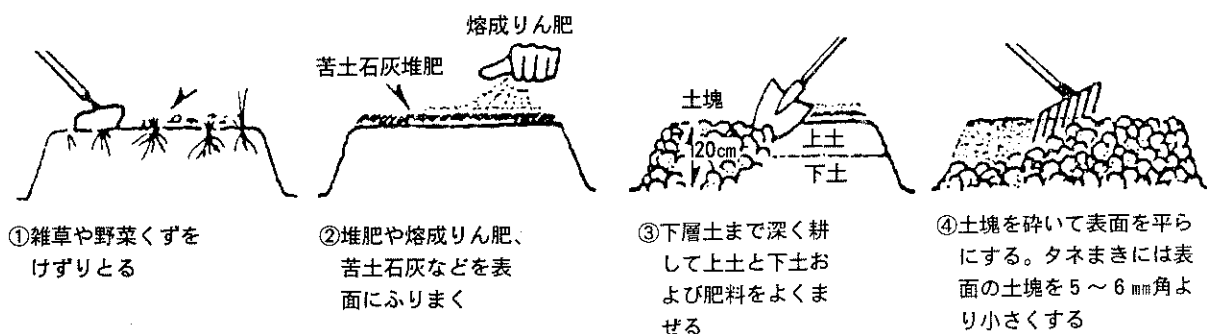
野菜の追肥はできるだけ水やりを兼ねて水肥として施し、葉面散布を併用すると良い。

敷きわらは、果菜類はもちろんキャベツ等の葉菜類にも充分行き、地温上昇防止と乾燥防止に努めましょう。

**秋野菜の作付け準備** 秋野菜作付けのシーズンに入るわけですが、種まきまたは植付けまでに畑を準備しておきましょう。収穫を終わった春野菜は病害株の茎葉が残らないようによく清掃し、被害株はできるだけ焼き捨てます。ネマトーダの被害のひどかったところは、D-Dやネマヒュームなどの殺線虫剤で駆除しておきましょう。

元肥は種まきまたは定植するまでに充分日数がとれるように早めに施し作付け予定地は早めに耕うん整地を行いましょう。

### ・種まき前に畑の準備



## ダイコンの種まき

畑は深く耕し（30cm深さ）、土を細かく碎きます。そうすれば肌のきれいなものができます。堅い土や石ころ、未熟な有機物、濃厚な肥料が土に混じっていると、若い根などが傷み、曲がり根や、また根の原因となるので注意が必要です。

乾燥しやすい砂地では、10cm高さの平畦を作り、水はけの悪い畑や固い粘土地では20～30cmに盛上げた高畦にします。

うね幅は70～90cmが適当で2条に種をまきつけます。

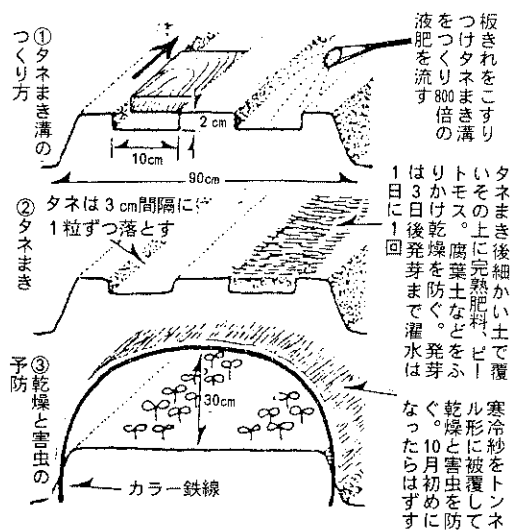
種まきの方法は、幅10cmほどの板切れでうねの表面をこすりつけながら、深さ2cmほどの種まき溝をつけ、この溝に800倍に薄めた液肥を流し込み、充分湿りをもたせてから種を3cm間隔に2粒の割で落とします。種が隠れる程度に細かい土で覆い、完熟堆肥やピートモスをふりかけます。幼苗時の乾燥と害虫を防ぐため、寒冷紗をトンネル型にかけると良い。

## 育て方

発芽するまで水やりは1日に1回位行き、芽が出揃って双葉が開いた頃、込み合った部分の苗を抜き取って株間を広げます。これを間引きと言います。

・間引き 第1回目は本葉の出始めた頃、株間を4～5cmにし、第2回目は本葉が3～4枚のときに株間を8～10cmにし、第3回目は本葉6～7枚になってから最後の間引きをして株間を15～20cmにして、この苗を大きくします。

## ダイコンの種まき



## ツケナ類の早どり栽培

生育途中の若い菜葉を抜き取り、間引き菜として利用するつくり方です。種まきしてから30～40日で新鮮な青菜が取れます。

### 品種

品種は葉が柔らかで育ちの早い、早生真菜、雪白体菜、小松菜などが良いでしょう。

### 種まきから収穫まで

平らな畦を作り、10～15cm間隔に浅い種まき溝（1cm深さ）をつけ、すじまきします。種は2～3cm間隔に1粒ずつ落とします。種まきから間引きまでの育て方はダイコンと同じです。芽が出て葉が茂ってくると、混み合ったところから適宜抜き取って収穫します。このとき、常に葉が触れ合う程度の株間を持たせるように育てましょう。

肥料は5～7日ごとに500倍の液体肥料をたっぷり与えます。水やりは3日に1回が目安です。

## イチゴ苗の仮植え（8月末～9月上旬）

7月頃から出てきたランナーが重ならないように配慮して、施肥、水やりをしていると、8月下旬には、親株の周囲に本葉2～3枚の小苗がたくさん根をおろします。

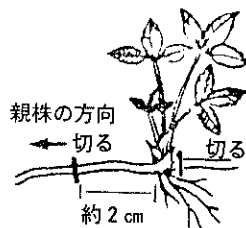
**植え床の準備** 植付けの10日以上前に1㎡当り堆肥1kgと油粕半握り（約15g）を施しておきます。

**ランナーの切り方と植え付け方** 下図を参考にしてください。追肥としては、液肥500倍を2週間おきに2～3回施します。

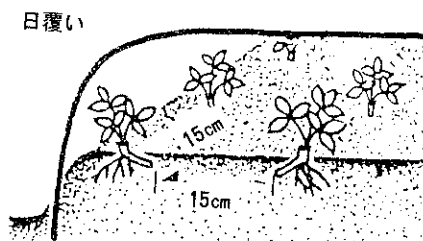
## ■ 収穫するもの

果菜類、夏どりキャベツ

### ・イチゴ苗の仮植え



親株の方向のランナーは約2cm残し、反対側のランナーは残さずに切り落とす



残したランナーを土にさし込んで浅く植える。活着まで（約5日間）、寒冷紗などで日覆いをする

# 9月の家庭菜園

| 種類 \ 月 | 9  | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7    | 8 | 品 種                        |
|--------|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|------|---|----------------------------|
| パレイショ  | ●  | —  |    |    |   |   |   |   |   |   |      |   | 農林1号、でじま                   |
| ダイコン   | ●  | —  | —  | —  | — | — | — |   |   |   |      |   | 阿波晩生、青首宮重、大蔵、高農聖護院         |
| カブ     | ●  | —  | —  | —  | — | — | — |   |   |   |      |   | 長交早生ひかり、聖護院                |
| ゴボウ    | ●  | —  | —  | —  | — | — | — | — | — | — | (南部) |   | 渡辺早生、山田早生                  |
| タマネギ   | ○  | ○  | ×  | ×  |   |   |   |   | — | — |      |   | 淡路中甲高、泉州中甲高、山口甲高           |
| 深根ネギ   | ○  | ○  | —  | —  | — | — | — | — | — | × | ×    |   | 石倉1本、金長                    |
| 葉ネギ    | ●● | —  | —  | —  | — | — | — |   |   |   |      |   | 九条                         |
| ワケギ    | ●  | —  | —  | —  | — | — | — | — |   |   |      |   | 中生種、晩生種                    |
| ラッキョウ  | ●  | —  | —  | —  | — | — | — | — | — | — | —    |   | 王らっきょう、在来種                 |
| ハクサイ   | ●  | —  | —  | —  | — | — |   |   |   |   |      |   | 長交60日、無双、王将                |
| キャベツ   | ○  | ○  | ×  | ×  |   |   |   | — | — | — |      |   | 金紅201、春風2号、春光7号            |
| ツケナ    | ●  | —  | —  | —  | — | — | — |   |   |   |      |   | 山東菜、京菜、在来種                 |
| ハウレンソウ | ●  | —  | —  | —  | — | — |   |   |   |   |      |   | ニューアジア                     |
| レタス    | ○  | ×  | —  | —  | — | — |   |   |   |   |      |   | ベンレイク、グレイトレイク366、グレイトレイク54 |
| シュンギク  | ●  | —  | —  | —  | — | — |   |   |   |   |      |   | 大葉種、中葉種                    |
| ニラ     | ●● | —  | —  | —  | — | — | — | — | — | — | —    |   | 大葉種                        |

## ■ 種まきするもの

**ジャガイモ** 秋ジャガイモの植付けは、種芋の上に2cmくらい覆土し、その上に堆肥を施し、さらに肥料を施して覆土しておくが良い。

**大根** 長くて肌の美しい大根をとるためには、畑を深く起こし、土も細かく砕いておくことが

大切である。管内の土性は火山灰土のような土が軽くて、耕土の深い地帯は少ないので抽根性(大根の首が地上に出る性質)の品種がよい。

**タマネギ** 品種と種まき期に十分注意しましょう。また、地帯によって種まき期が早くなります。タマネギの種まき期は、その土地の年平均

均気温が摂氏15度になる日からさかのぼり35日前を中心とした数日間が泉州黄の種まき適期で、早生品種はそれより今井系が10日前、貝塚早生が15日前、愛知白が20日前、晩生の甲高系は7日後がそれぞれ種まき適期とされています。

ほうれん草、ツケナ類 9月はこれらの野菜の種まき期ですから、随時まきつけられます。

秋まきキャベツ 中旬から下旬にかけて種まきしますが、早まきものは早期とう立ちをおこしやすいので注意しましょう。

### ■ 管理

秋まき野菜は直まきすることが多いので、そろって発芽させること。間引きを上手に行うことが大切です。

種まきの方法は、30cm～35cmおきに1升ビンの底で軽く鎮圧して種を10数粒ムラのない様にまきます。うすまきすると幼苗期の生育が遅れます。

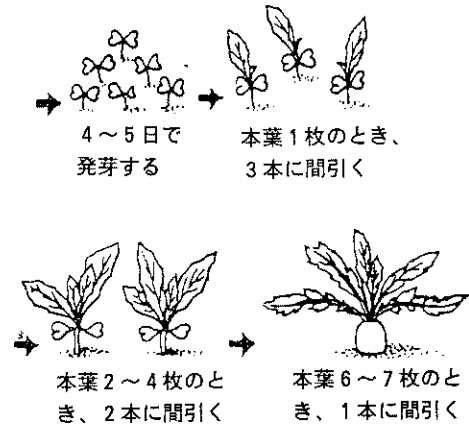
覆土は6mmぐらいの厚さにしておく和良好的でしょう。

間引きのとき抜き取る苗は、①生育が特に早いものや遅すぎるもの、②葉の色が黒ずんで光沢のないもの、③葉の形が普通でないもの、④病気や害虫におかされているもの、などから先に抜き取り、育ち具合や形・色などが平均的なものを残すようにします。間引き菜は若い葉と根を浅漬にすると良い。

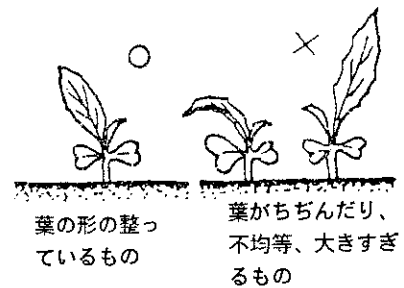
### ■ 収穫するもの

果菜類、初夏まきキャベツ、夏まき果菜類、サトイモ

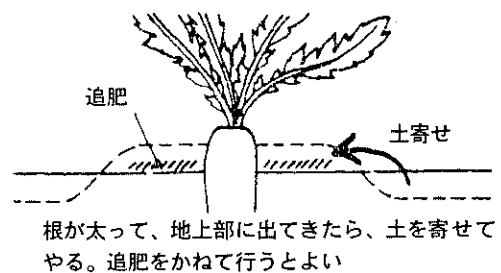
### ・間引きの目安



### ・間引きの注意



### ・土寄せ・追肥



# 10月の家庭菜園

| 種類 \ 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 品 種                 |
|--------|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---------------------|
| イチゴ    | ×× |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 宝交早生                |
| エンドウ   | ●● |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 白竜、うすい              |
| ソラマメ   | ●● |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 一寸、金比羅              |
| ダイコン   | ●  |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 二年子、三月子             |
| カブ     | ●  |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 金町小かぶ               |
| ハウレンソウ | ●  |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ニューアジア、<br>ミンスターランド |
| カリフラワー | ○  | ○  |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 山本花やさい              |
| ツケナ    | ●  |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 山東菜、京菜、たかな          |
| シュンギク  | ●  |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 大葉種、中葉種             |
| ゴボウ    | ●  |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 渡辺早生、山田早生           |
| パセリー   | ○  | ○  |    |   |   |   | × |   |   |   |   |   | パラマウント              |

## ■ 種まきするもの

10月にまく野菜は、越冬野菜で、春から初夏の時期に収穫されます。

冬どりする野菜もありますがこれは暖地に限られます。

**イチゴ** 5～6月に収穫できて、果実的な野菜ですから、ぜひ作付けしたいものです。露地栽培対象であるから本月中に定植しておけば良い。

**エンドウ・ソラマメ** 莢用、実とり用ともに中旬頃からまけます。ソラマメは本葉1～2枚まで育苗しておいて来月植え付ける方法もあります。品種は大粒の一寸蚕豆が良い。

**ハウレン草・シュンギク** 今月の種まきで冬どりができます。

**ハナヤサイ** 上～中旬に種まき、育苗して11～12月に定植すれば5～6月に収穫できます。

**ゴボウ** 先月下旬から引き続いて種まきするが、5～6月に葉ゴボウとして収穫できます。

**ツケナ類** ツケナ類は一般的に種まき期の幅が広く耐寒性も強いので、かなり遅くまでまきつけることができます。ツケナの種類によっても異なりますが、平均気温摂氏12～13度の頃まで種まきが可能です。10月まきでは越冬して3～4月の収穫となります。普通は直まきにしますが、早どりの秋野菜収穫後に定植できるようにあらかじめ育苗しておくのも良いでしょう。

## ■ 管理

10月は秋野菜のもっとも生長する時期ですから、間引き、追肥、薬剤散布等すべての管理を適期に行うようにしましょう。適期にまいたダイコン、ハクサイ、ホウレン草、ツケナ類は生育するにつれて3~4回間引きを行い10月初めには1本立ちにします。

9月下旬から10月上旬にかけては、降雨の多い時期で病気の発生も多いので、ダイセン等の散布を励行しましょう。もちろん害虫に対してもマラソン、ディプレックス、オルトラン等を散布して駆除に努めましょう。

寒冷期に向かう野菜は、リンサンを生育初期から窒素やカリ同様に吸収させる必要がありますが、直まきの場合は、リンサン肥料の特性上、幼根時代の吸収が悪いので肌肥として施します。硫酸水に過りん酸石灰を20リットル当り100gぐらいを加えて施しておくが良い。

### 冬どりほうれん草の種まき

ほうれん草は低温下でもよく育つので、冬の野菜類が乏しくなる時期の収穫を狙うのに適した野菜です。畑の準備、種まきの要領さえ守れば、後の管理はたやすく、成功しやすいものです。

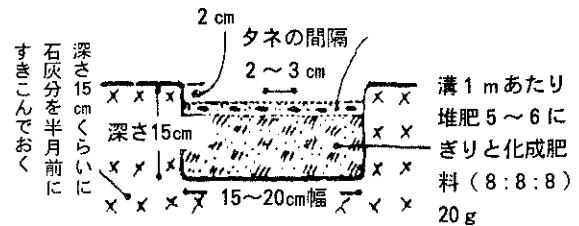
**適期** 10月上旬が最適。収穫までに90~130日ぐらいかかり、まき時が遅れるほど冬どりに間に合いません。10月下旬にまくと露地では越冬困難になりますので、ビニールトンネルをかけて栽培します。

**畑の準備** ほうれん草は酸性土壌を嫌う代表的な野菜なので、種まきの半月ほど前、畑に必ず苦土石灰か消石灰をまいてよく耕しておきます。多湿地では立ち枯れが出たり、小さいうちの育ちが悪く、良い株が取れないので、水はけを良くしておきましょう。

**応用** シュンギク、コマツナなども同時期にほぼ同じ要領で種まきできる。

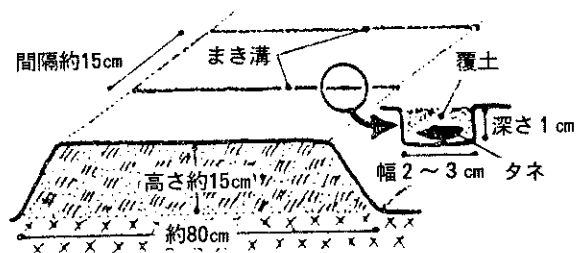
### 地下水位が低く、水はけの良い畑の場合

- ① 前もって石灰分を施して耕しておいた畑に、両側に土を上げながら溝を掘り、堆肥、化成肥料を入れる。
- ② 土を戻し、溝面を平らにし、じょうろで溝面全面に水をかける。
- ③ 種と種の間隔を2~3cmぐらいにまく
- ④ 土を1cmぐらいの厚さにかける。



### 水はけの悪い畑の場合

- ① 前もって石灰分を施して耕した畑に畝を作り、その全面に堆肥と化成肥料をばら撒き、鍬で15cmぐらいの深さにすき込む(分量は1㎡当り完熟堆肥をバケツ1杯と化成肥料(8・8・8)を約100g)
- ② 板切れなどで丁寧にならし、約15cm間隔の溝をつける。
- ③ 種をまき、土をかける。
- ④ 水やりをする。



### エンドウの種まき

- ・時期 10月中~下旬がよく、暖かい地方では11月初め頃にまきます。早くまいて冬までにのび過ぎると寒さの害を受けやすいし、遅まきに

なると春の生長が遅れて実のつき方が少なくなります。地方によって種まき時期を調整してください。

・まき方 直接、畑にまきつける場合は、幅1mほどの平畦を作ります。土の酸性に弱いので、1㎡に200gほどの苦土石灰や熔成リン肥を施し、土とよく混ぜてから畦を作ります。種は30cm間隔に直径5cm、深さ2cmほどの穴を作り、そこに3粒の種をまきつけます。種を落とし、1~2cm厚さに土をかけ、その上に完熟堆肥やピートモス、腐葉土をかけておきます。

### ソラマメの苗作り栽培

#### 苗づくり

発芽には10日以上かかり、生えそろいが悪いので、苗床にまいて苗を育て、発育のそろった苗を植え付けるようにします。

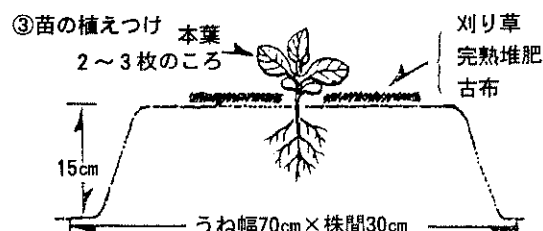
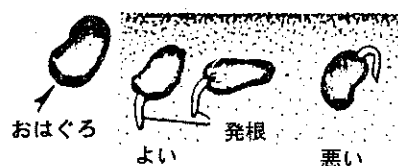
苗床として、深さ10cmほどの栽培容器に水はけの良い砂土や培養土を入れるか、または畑の一部に平らな畦を作ります。

種は、5~6cm間隔に1粒ずつ並べます。このときおはぐろの部分が斜め下か水平になるように埋め、1cm厚さに山砂で覆土します。発芽までは2日に1回くらいの目安で水やりしますが、湿り過ぎないようにします。苗の本葉が2~3枚になれば、苗を掘りあげて植え付けます。植付けの広さは1㎡に4~5本が適当で、普通は70cm幅の畦に30cm株間に1本ずつ植えます。

#### 育て方

植付け後の育て方はエンドウと同じです。特に冬に乾燥させないように水やりすることが大切です。春先になって茎が伸びはじめれば株元に土を寄せかけ、茎倒れを防ぎます。

ソラマメのタネ タネのまき方



### ■ 収穫するもの

サトイモ、ヤマイモ、ゴボウ、ニンジン、レタス、キャベツ等

# 11月の家庭菜園

| 種類   | 月 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 品 種          |
|------|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--------------|
| イチゴ  |   | ×  |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    | 宝交早生         |
| エンドウ |   | ●  |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    | 30日絹莢、白竜、うすい |
| ソラマメ |   | ●  |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    | 一寸、金比羅       |
| キャベツ |   | ○  |    |   |   | × |   |   |   |   |   |   |    | 万来           |
| ニンジン |   | ●  | ●  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    | 中村鮮紅5寸       |

## ■ 種まきするもの

**エンドウ・ソラマメ** 前月に引き続いて種まきできますが、遅くまくほど減収になるので遅れないようにしましょう。

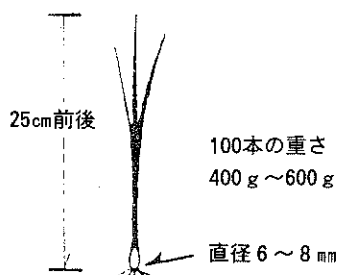
**ニンジン** 上旬頃から来月中旬にかけて4～5月どりのニンジンが種まきできます。しかし寒地では冬季寒害を受けるので栽培は難しいようです。

**キャベツ** 晩秋まき夏どりのキャベツは、前月の中旬頃から本月の中旬頃まで引き続いて種まきできます。

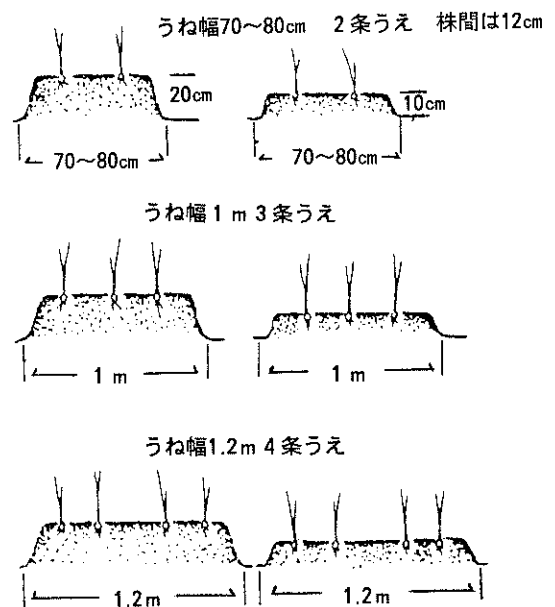
## ■ 定植

**タマネギ** タマネギは育苗期間が55～60日で定植するようになりますので本月の下旬までには植付けを終えるのが良い。早生種とか寒冷地では少々小苗であっても早く植え付けて越冬前に充分根張りさせておくほうが良い。なお、タマネギはその土地の平均気温が摂氏10度の頃の定植がもっとも発育が良いとされています。

### ・植付け適期のタマネギ苗の大きさ



## ・タマネギのうね立てと植付け



**キャベツ** 秋まきキャベツの4～5月どり、5～6月どりは本月中に定植を終わります。特に4～5月どりは植付けが遅れないように注意しましょう。

**イチゴ** 先月から引き続いて植え付けられるが、遅くとも下旬までには植付けを終わり、年内に充分根張りをさせておくことが大切です。

## ■ 管理

気温が低くなっても依然として病害虫の被害があるので薬剤散布を続けます。



肥料は越冬野菜の場合は、越冬前にリン酸やカリ肥料をよく吸収させておくことが大切で、特にリン酸肥料は元肥と初期の年内追肥に重点をおいて施します。

## ■ 秋冬野菜の手入れ

### ハクサイ

結球が完成しないうちに、アオムシ、ヨトウムシなどの害虫は防除しておきましょう。球の中へ包み込まれてしまうと後で厄介ですし、せっかくのおいしい部分を先にやられてしまいます。

球が完成すると寒さには大変弱くなります。寒さにもっとも弱いのはレタスです。霜が再三降りるようになってもお畑におく場合は、ビニールトンネルやよしずかけをして霜よけをしてやりましょう。

ハクサイは、球がむき出しにならないように外葉をしばっておくと寒中まで畑におくことができます。

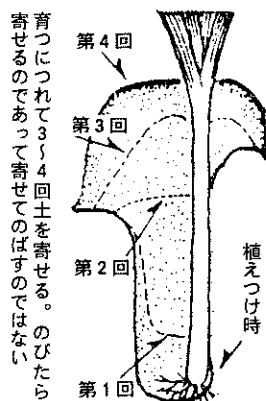
#### ・ハクサイの冬越し



緑の外葉を合わせ、結球部を包むようにしてテープでしばり、畑で越冬させる

### 根深ネギ

よい根深ネギを作るのに大切な管理は土寄せです。初めは倒れない程度におきます。特に緑葉の合わせ以上に土をかけると著しく生長を損ねてしまうので、



育つにつれて3〜4回土を寄せる。のびたら寄せるのであって寄せてのびすのではない

浅めにとどめておくことが大切です。しかし、この時期に入ると図のように高く土を盛上げ、特に最後の土寄せは、緑葉の合わせ目の5cmくらい上まで十分に土を寄せてやりましょう。

#### ・根深ネギの土寄せ

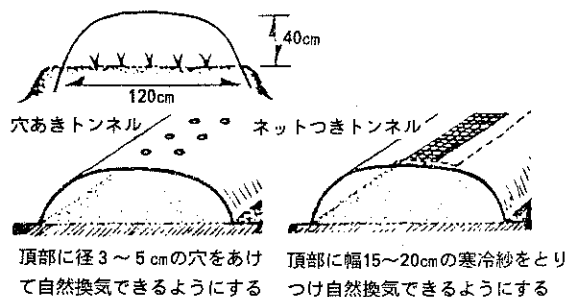
この時期には光を遮断してからおよそ40日くらいで葉緑素がぬけて軟白させるので収穫目標の時期からさかのぼって40日、たとえば正月用のためには11月20日頃に最後の土寄せを終えるようにすればよいわけです。収穫の予定時期に合わせ、土寄せを完成する日を3〜4回に分けて、計画的なネギ作りを試みるのもよいでしょう。

葉ネギは軽く1〜2回土寄せをして倒れないようにするだけにして、軟らかい緑葉の独特の風味を味わうようにしましょう。

#### 霜よけ

##### 1. ビニールトンネルによる霜よけ

#### ・ビニールトンネル



穴あきトンネル

ネットつきトンネル

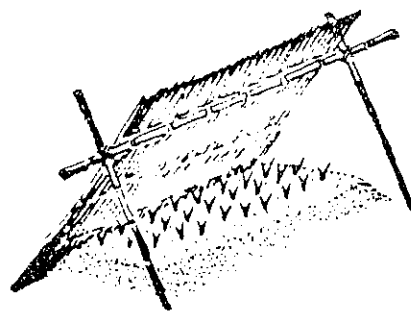
頂部に径3〜5cmの穴をあけて自然換気できるようにする

頂部に幅15〜20cmの寒冷紗をとりつけ自然換気できるようにする

##### 2. 寒冷紗トンネルによる霜よけ

##### 3. ヨシズ覆いによる霜よけ

#### ・ヨシズの覆下栽培



太陽の高度によりヨシズの角度が変えられるようにしておく。むすび位置を替える

## ■ 収穫するもの

秋野菜はたいていのものが、今月中から収穫されるようになる。結球ハクサイ、ほうれん草、カリフラワー、ツケナ、大根、夏まきキャベツ、ニンジン、サトイモなど種類が多いので、成熟状態によく注意して適期に収穫する。サトイモは来年の種に使うもの、長期間貯蔵するもの、また赤芽等は強い霜にあってから収穫すると貯蔵力が低下しますので、早めにしかも晴天のときに掘り取りましょう。

# 12月の家庭菜園

## ■ 収穫するもの

11月に続いて秋野菜の多くが収穫されます。

結球ハクサイ、ハウレン草、カリフラワー、ダイコン、夏まきキャベツ、ニンジン、カブ、ゴボウ、秋ジャガイモなどがありますが、それぞれ適期に収穫します。

葉菜類や根菜類のように収穫期に達したら直に収穫しなければならないということはありません。しかしダイコンのようにス入りが進行したり、カリフラワーでは花房が開き、あるいは病害虫の被害が進行したりして、品質の低下が著しくなりますので、やはり適期に収穫するのがよい。

また貯蔵する野菜は、完熟したものより、やや未熟の早どりしたものが一般に貯蔵力が強いようです。

## ■ 越冬野菜の管理と春作の準備

越冬野菜が厳寒期に受ける被害を少なくするように防寒対策を行いましょう。直接の防寒対策は厳寒期に行うとして、それまでに株を丈夫に育てておくことが大切なことです。とくに肥培管理に注意し、越冬前にリン酸やカリ肥料を十分に吸収させておき、根の発達を促進させておきましょう。

## ■ 冬越し野菜の追肥

朝夕の冷え込みも厳しくなり、イチゴ、ソラマメ、ハウレン草、シュンギク、キャベツなど冬越しする野菜の育ちも大変緩慢になってきます。しかし地上部の成長は遅くなくても地下の根のほうはこれからの寒さに耐える力をつけようと盛んに伸びています。あまり寒くならないうちに肥料を与え、冬越しに耐える力をつけてやるのが大切です。

**適期** 暖地で11月下旬～12月中旬。寒冷地では

11月中旬頃から12月上旬までに終わります。

**追肥場所** 根がどこまで伸びてきているかを調べ、その先端近くに施すようにする。

**肥料の種類** 肥料は早効きする硫酸、過リン酸石灰、硫酸カリなどを使います。化成肥料でもよいのですが、遅効性のものは避けましょう。なお、キャベツ、タマネギなどはあまり大きく育てすぎると、春になってとう立ちの危険がある。小さい場合は追肥をするが、暖冬で大きくなりそうならば、見合わせてやりましょう。

## 大根のス入り

大根は収穫が遅れると、スが入って食用にならなくなります。

## ス入りの見分け方

外から2～3枚目の葉の柄の基部を折ってみて、折口にスが入りかけていれば、根にもスが入りかけています。

**なぜスが入るのか** 葉の同化作用が根の肥大生長をまかないきれない場合に起こります。葉が病害虫で痛んだり、肥え切れしたり夜間の温度が高い場合（葉の同化養分の転流が行われにくい）に早く入ります。

**予防策** 葉や茎を傷めないように病害虫防除をすること、また、生育の初期から順調に生育させ、急激な肥大生長をさせないことです。

## ・大根のス入りの見分け方

外から2～3枚目の葉柄の基部の横断面

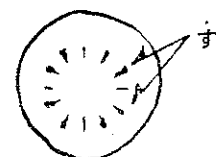
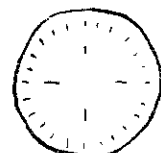
根の横断面



スが入っていない



スが入っている



### カリフラワーの花蕾の保護

白い花蕾に直射日光があたると、変色して黄色になり品質が悪くなります。花蕾が鶏卵大のときに外葉を紐で束ねて花蕾を保護します。下葉を1枚ちぎって花蕾の上のにせるだけでも効果があります。

### ブロッコリーの収穫と追肥

頂花蕾が膨らんだら、あまり表面がでこぼこにならないうちに、茎を10～15センチつけて収穫します。カリフラワーのように葉を結束する必要はありません。頂花蕾収穫後、追肥を株間に施すとわき芽が次々に出てきます。わき芽は小葉を2～3枚つけて収穫しますが、小葉も花蕾とともに食用にします。

### セロリのス入り

セロリも収穫が遅れると葉柄にスが入り、ひどくなるとすかすかになって、食味を落とします。

**収穫適期を逃さないこと** 6月上旬に種まきをし、8月下旬～9月初旬に植え付けたなら12月末～1月上旬が収穫期の限界です。

# 作付け計画の立て方

## ① 菜園面積は1人当り50㎡

1人1日あたりの野菜の必要量は、緑黄野菜150g、淡色野菜150g、イモ類45g、合わせて345gであるから、1人1年間では、 $345g \times 365日 = 125kg$ となり、廃棄率を15%とすれば、最低約140kgを収穫しなければならない。

1a当りの野菜の収穫量は、作付けする種類や品種で大きな違いがあるが、少なく見ても平均170kgくらいは採れるから、同じ所に1年2作すれば、1人当り0.4aの菜園面積があればよいことになる。

## ② 多くの種類を年中食卓へ

作付け計画を立てる場合、なるべく多くの種類を取り入れ、毎月数種類の野菜が収穫できるようにしたい。特に8～9月の暑い時期、3～4月のとう立ちの多い時期は、自家菜園の野菜が不足しがちの時期にあたる。作付けする種類を考え、管理を工夫して多くの野菜が年中切れ目なく収穫できるよう心がける。

また、ミニハウス（間口2m、長さ5～8m）を日当たりの良い場所にたて、シュンギク、ホウレン草、コカブなどの小もの野菜を作ったり、貯蔵野菜や加工野菜を考えて必要量を確保する。

## ③ 作りやすく品質の良い品種を

野菜の品種は非常に多いが、暑い時期の作付けには耐暑性品種、とう立ちの早い時期にはとう立ちの遅い品種といったように、作る時期別に適した品種がある。

自家野菜で安定した収穫を得るには、病害虫に強く、生育が揃って作りやすい品種を選ぶことが大切で、中でも品質の良いものがほしい。漬菜類やネギのように古くからその地方で作られている品種は、地方適合型に知らない間に選抜されているので作りやすい。

種を購入するときは、少しくらい高価でも交配種のある野菜はそれを選んだほうが育ちが早

く、よく揃い、病気にも強い。また、ピーマンやトマトのような果菜類は、購入苗を利用することが多いが、節間の短いガッチリした根量の多い苗がよく、スイカやナスは、接ぎ木苗が病気にかかりにくく生育がよい。果菜の苗は春先早くから売られているが、土の温度の低い時期に植えても、新しい根がなかなか出ず、良い成績が得られない。根が早く伸びる地温になった時期や地温を上げる方法を考えて植えることが大切である。

## ④ ポリマルチや寒冷紗の利用

黒色ポリマルチはイチゴで多く使われているが、肥料が長持ちし、土の温度を保ち、草が生えず、果実が汚れない。ポリマルチは種々の野菜、時期に利用でき、上手に使えば生育や収穫が良くなり、労力も節約できる。春先や秋の野菜は黒色ポリマルチで土の温度を上げ、夏を越す野菜は銀色マルチをすると地温が下がり光を反射するので、害虫の寄りつきが少なくなる。

寒冷紗をトンネル覆いすると、生育を早めたり、収穫の幅を長くすることができる。防霜や防寒には白色寒冷紗を、温度の高い時期は銀色寒冷紗を、強い光を嫌う野菜は黒色寒冷紗を使うと良い。いずれも害虫がつかないので農薬散布が少なくて済む。

## ⑤ 連作を避けることが大切

同じ種類の野菜を、同じ場所に毎年作ることを連作という。野菜にはアスパラガスのように1回植えれば10年くらい収穫するものもあるが、多くは毎年種を播いたり、苗やイモを植えることを繰り返す。

野菜の中には連作によって、だんだん出来が悪くなるものがある。その原因は、土によって伝染する病気や虫の場合、肥料の吸い方が片寄って土に残った肥料の釣り合いが悪くなった場合、根から出る毒素によって自家中毒を起こす場合

## 野菜の輪作年限

|               |                                                                                                                     |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連作の影響の少ないもの   | かぼちゃ、トウガン、カンピョウ、イチゴ、スイートコーン、ネギ、タマネギ、ワケギ、ニラ、ニンニク、ラッキョウ、ツケナ類、ほうれん草、ミツバ、春菊、パセリ、キャベツ、大根、カブ、ニンジン、サツマイモ、ごま、レンコン、クワイ、セリ、シソ |
| 1年輪作するとよいもの   | ハクサイ、レタス、枝豆、セロリ                                                                                                     |
| 2～3年輪作するとよいもの | キュウリ、シロウリ、マクワウリ、インゲン、ササゲ、ソラマメ、ユリ、生姜、サトイモ、ヤマイモ                                                                       |
| 4～5年輪作するとよいもの | トマト、ナス、ピーマン、スイカ（自根）、エンドウ、ゴボウ                                                                                        |

などである。

野菜の輪作年限は種類によって随分違うが実際には連作しても良い野菜は少ない。古くからかぼちゃやサツマイモは連作したほうが良いとされているが、その土地での肥料のやり方がわかって茎葉の出来過ぎがなくなり、結実が良くなったり、イモが大きくなるためである。大根も連作した方が深耕されるので、また根やひげ根が少なくなるが、夏栽培では1～2年は輪作しないと、土によって伝染する病気が出だすと作れなくなる。アブラナ科野菜（キャベツ、カブなど）も、根にこぶの出来る病気を防ぐには輪作したほうがよい。

輪作年限は同じ野菜だけではいけない。ナス科（トマト、ナス、ピーマン、馬鈴薯）、ウリ科（キュウリ、マクワウリなど）、アブラナ科など、同一科には共通した連作の影響が出るので、同じ場所に続けて作らないで、他科の野菜と組合わせて作るようにする。また、縁の遠い野菜も土壌センチュウのように共通の病害虫の発生した時は続けて作ってはいけない。

生育期間の短い小物、軟弱野菜は、1年に数回続けて作っても連作の害が出にくく、少しの工夫で年中作れるので、緑黄色野菜を得るのに都合が良い。

菜園を5区画くらいに分けて作付け図を作り、同じうねに同科の野菜がこないよう、順番にう

ねを変えていくと良い。

### ⑥ 作った野菜を無駄なく利用する

野菜にはナスやピーマンのように上手に作るのと収穫期間の非常に長いもの、ほうれん草や菜類のように収穫時期の幅が狭いもの、また、タマネギ（葉タマネギ、青切りタマネギ、貯蔵タマネギ）、カブ（間引き、小カブ、中カブ）のように生育途中でも利用できるものまで、様々である。

家族構成に見合った種類ごとの作付け面積を考え、出来た野菜を無駄なく利用するようにしたい。

— MEMO —

A series of horizontal dotted lines for writing a memo.

# 家庭菜園 5 年輪作作付表

| 旬  | 1年時    |   |         |   |   | 2年時     |    |         |    |         | 3年時     |   |         |   |     | 4年時      |   |         |      |       | 5年時  |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
|----|--------|---|---------|---|---|---------|----|---------|----|---------|---------|---|---------|---|-----|----------|---|---------|------|-------|------|---|---------|---|---------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|
|    | 4      | 5 | 6       | 7 | 8 | 9       | 10 | 11      | 12 | 1       | 2       | 3 | 4       | 5 | 6   | 7        | 8 | 9       | 10   | 11    | 12   | 1 | 2       | 3 | 4       | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 |
| 1  | 枝豆     |   | ほうれん草   |   |   | キュウリ    |    | キャベツ    |    |         | ニンジン    |   | パクチョイ   |   |     | インゲン豆    |   | わけぎ     |      |       | トマト  |   | みぶな     |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 2  | トマト    |   | わけぎ     |   |   | キャベツ    |    | かぶ      |    |         | スイートコーン |   | ごぼう     |   |     | おくら      |   | みぶな     |      |       | キュウリ |   | 大根      |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 3  | インゲン   |   | 春菊      |   |   | スイートコーン |    | ニンジン    |    |         | ハクサイ    |   | わけぎ     |   |     | ネギ       |   |         |      |       | ナス   |   | ごぼう     |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 4  | 大根     |   | みぶな     |   |   | ナス      |    | えんどう    |    |         |         |   | ごま      |   | レタス |          |   | キャベツ    |      | 小松菜   |      |   | ハクサイ    |   | たまねぎ(黄) |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 5  | ナス     |   | えんどう    |   |   |         |    | かぶ      |    | たまねぎ(赤) |         |   | 紅菜苔     |   |     |          |   | はつか大根   |      | ジャガイモ |      |   | ハクサイ    |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 6  | ジャガイモ  |   | ニンジン    |   |   | ピーマン    |    | ハクサイ    |    |         | サトイモ    |   |         |   |     | ゴボウ      |   | たまねぎ(赤) |      |       | わりぎ  |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 7  | キャベツ   |   | たまねぎ(黄) |   |   | ごぼう     |    |         |    |         | ナス      |   | 春菊      |   |     | スイートコーン  |   | 大根      |      |       | おくら  |   | えんどう    |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 8  | ごぼう    |   | ハクサイ    |   |   | おくら     |    | ほうれん草   |    |         | ピーマン    |   | たまねぎ(赤) |   |     | ふだんそう    |   | レタス     |      | ニンジン  |      |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 9  | キュウリ   |   | たまねぎ    |   |   | トマト     |    |         |    |         | 大根      |   | さといも    |   |     |          |   | スイートコーン |      | ねぎ    |      |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 10 | かぶ     |   | ねぎ      |   |   | トマト     |    | 大根      |    |         | キャベツ    |   | ニンジン    |   |     | ハクサイ     |   | ごぼう     |      |       | キャベツ |   | 春菊      |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 11 | しろうり   |   | 大根      |   |   | さといも    |    | たまねぎ(黄) |    |         | トマト     |   |         |   |     | ハクサイ     |   | ニンジン    |      |       | 小松菜  |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 12 | ピーマン   |   | かぶ      |   |   | じゃがいも   |    | 小松菜     |    |         | キュウリ    |   | 大根      |   |     | たまねぎ(黄)  |   |         | ニンジン |       |      |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 13 | おくら    |   | キャベツ    |   |   | ニンジン    |    | 春菊      |    |         | パセリ     |   | ほうれん草   |   |     | しそ       |   | からしな    |      |       | ナス   |   | たまねぎ(黄) |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 14 | サトイモ   |   | ふだんそう   |   |   | ハクサイ    |    | ねぎ      |    |         | インゲン豆   |   | かぶ      |   |     | しし唐、ピーマン |   | キャベツ    |      |       | しろうり |   | じゃがいも   |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 15 | やまのいも  |   |         |   |   | にら      |    |         |    |         | ちょろぎ    |   |         |   |     |          |   |         |      |       |      |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 16 | キャベツ   |   | じゃがいも   |   |   | インゲン    |    | わけぎ     |    |         | はつか大根   |   | ねぎ      |   |     | キュウリ     |   | ほうれん草   |      |       | さといも |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 17 | ニンジン   |   | レタス     |   |   | ぎつまいも   |    |         |    |         | らっかせい   |   | ふだんそう   |   |     | たかな      |   | 春菊      |      |       | ピーマン |   | たまねぎ(赤) |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 18 | コンニャク  |   |         |   |   | 畑わさび    |    |         |    |         |         |   |         |   |     |          |   |         |      |       |      |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 19 | アスパラガス |   |         |   |   | みょうが    |    |         |    |         |         |   |         |   |     |          |   |         |      |       |      |   |         |   |         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |



## 家庭菜園 月別播種計画表

| 月 \ 旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
|-------|----|----|----|
| 1 月   |    |    |    |
| 2 月   |    |    |    |
| 3 月   |    |    |    |
| 4 月   |    |    |    |
| 5 月   |    |    |    |
| 6 月   |    |    |    |
| 7 月   |    |    |    |
| 8 月   |    |    |    |
| 9 月   |    |    |    |
| 10 月  |    |    |    |
| 11 月  |    |    |    |
| 12 月  |    |    |    |

# 野菜の作型

| 作物名 | 月 |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   | 種、<br>苗量 | 備考 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|----------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|     | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |          |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

-  種まき
-  育苗
-  収穫
-  直まき
-  定植
-  ビニール被覆



編集：発行

鶴ヶ島市農業交流センター

## 市民農園

〒350-2223 鶴ヶ島市大字高倉534番地3

TEL 0492-79-3335

fax0492-71-6500